

キラ キラ Yカル

R-18

昭和養子縁組話

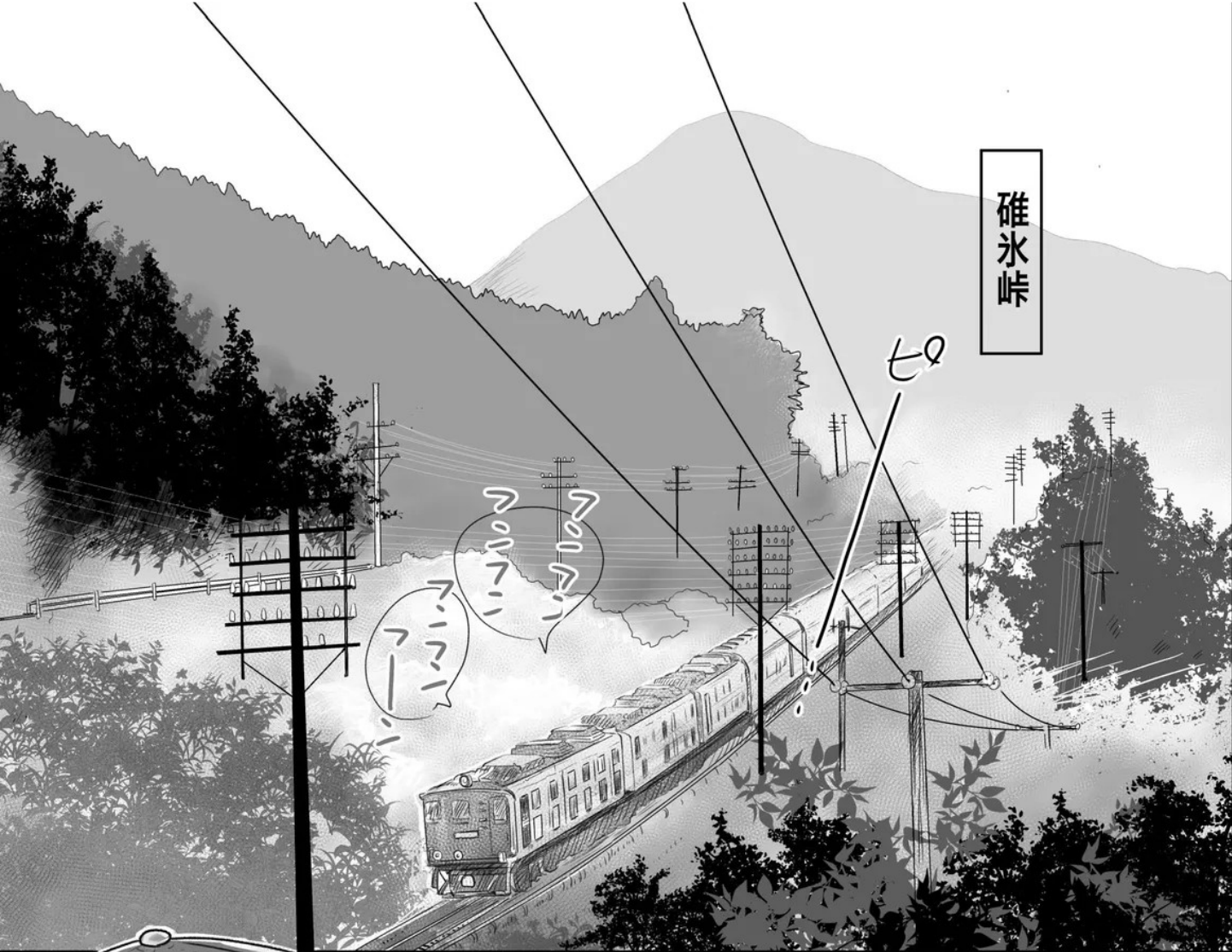
百
斎

YANCHA CLUB / DOUSAI

昭和三十某年
新緑の頃



碓氷峠





へー...
それって
すごいのか?



ここは明治の世から
この電気機関車が
ずっと走ってるんだぜ



しっかしよかったな
大学まで出してくれるって
養父が出てくるとかよ

いや〜



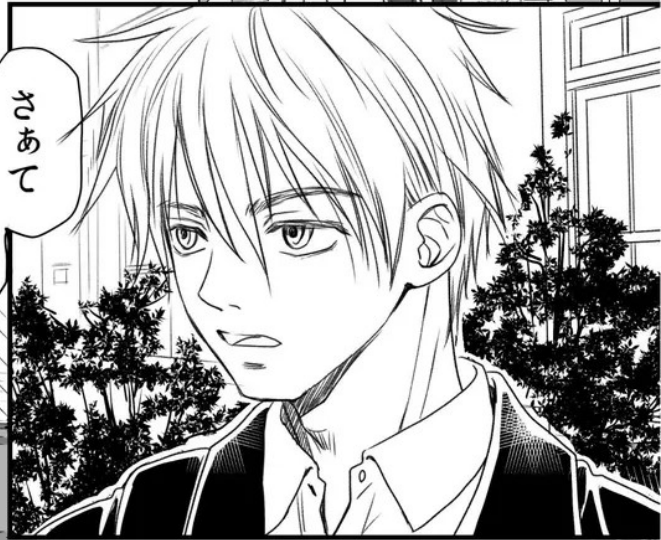
さすがに
寒いな!

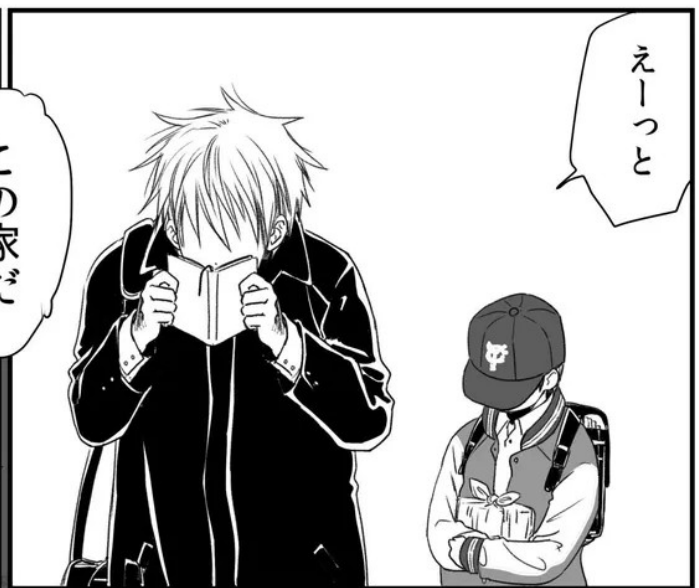


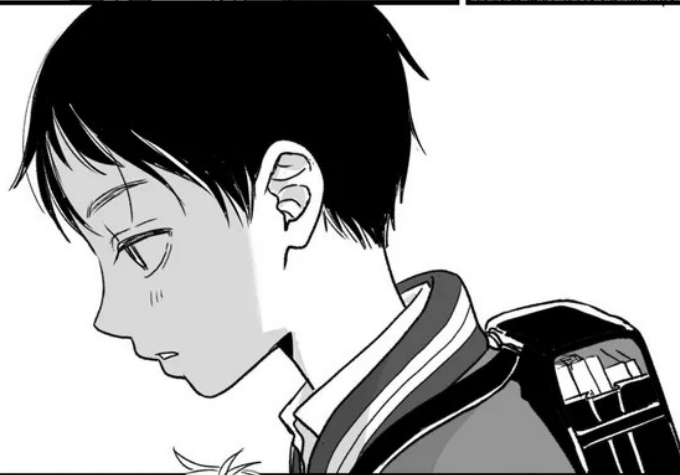
アレだ
アレだ

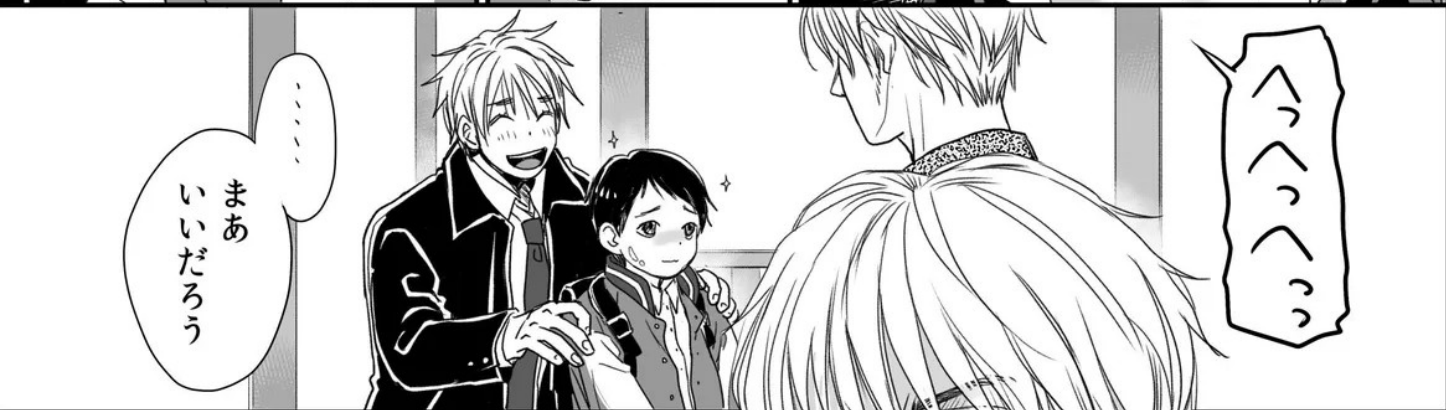
迎えの車が
来てるハズ
なんだが...

さあて





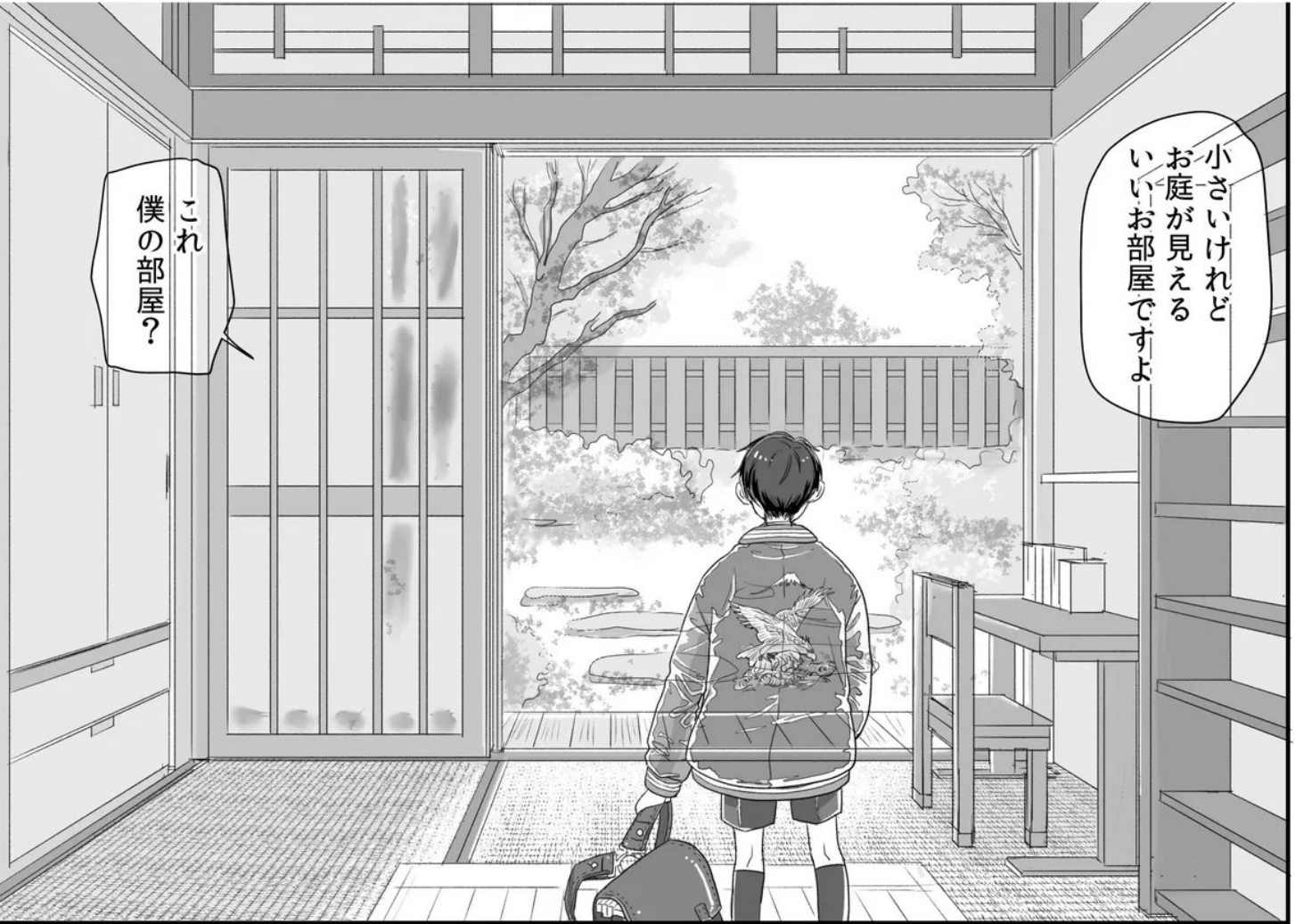






うわーっ





ここが今日から
俺の住む家か：

すごいな
縁側ある部屋

あとは……

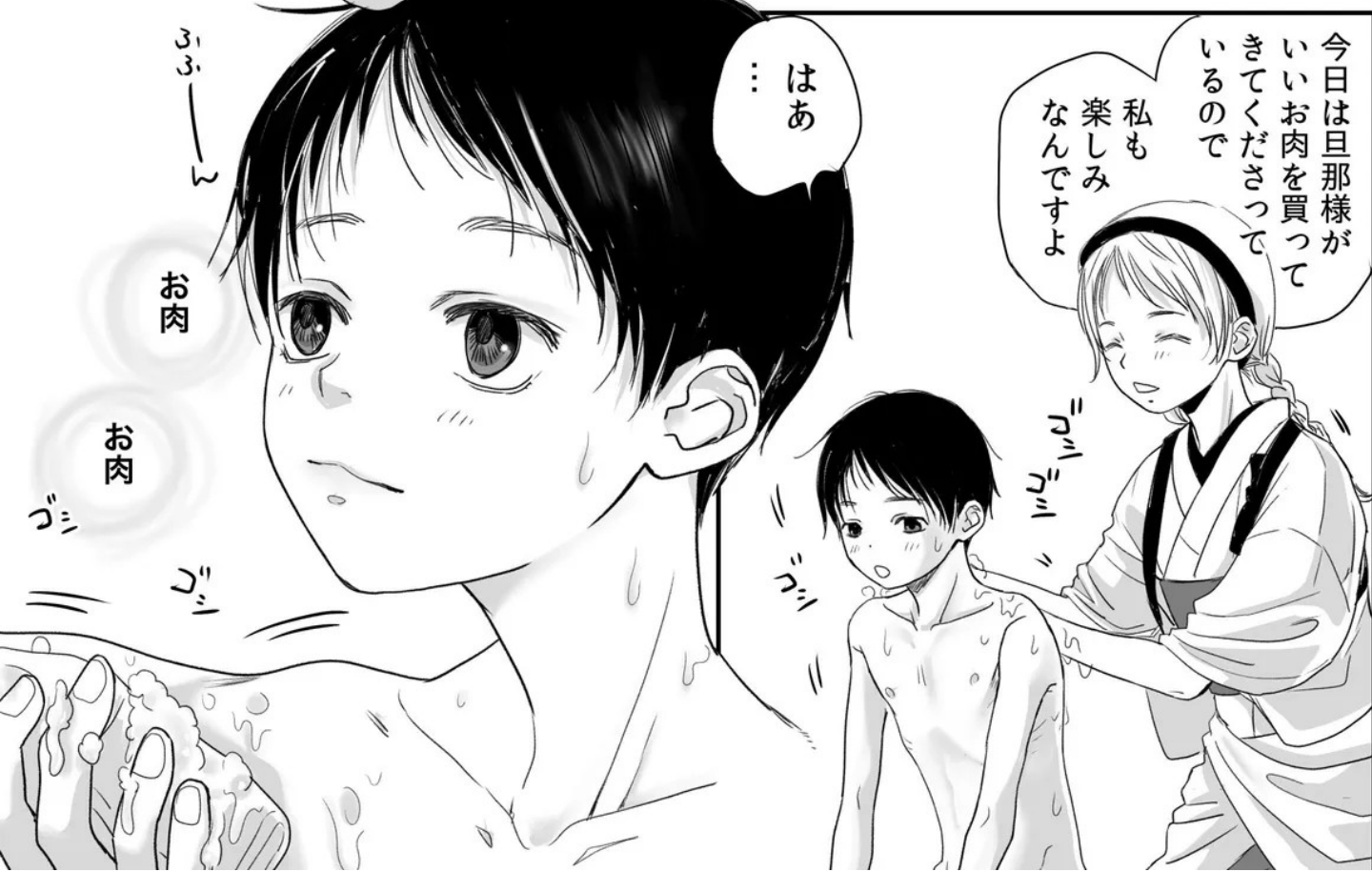
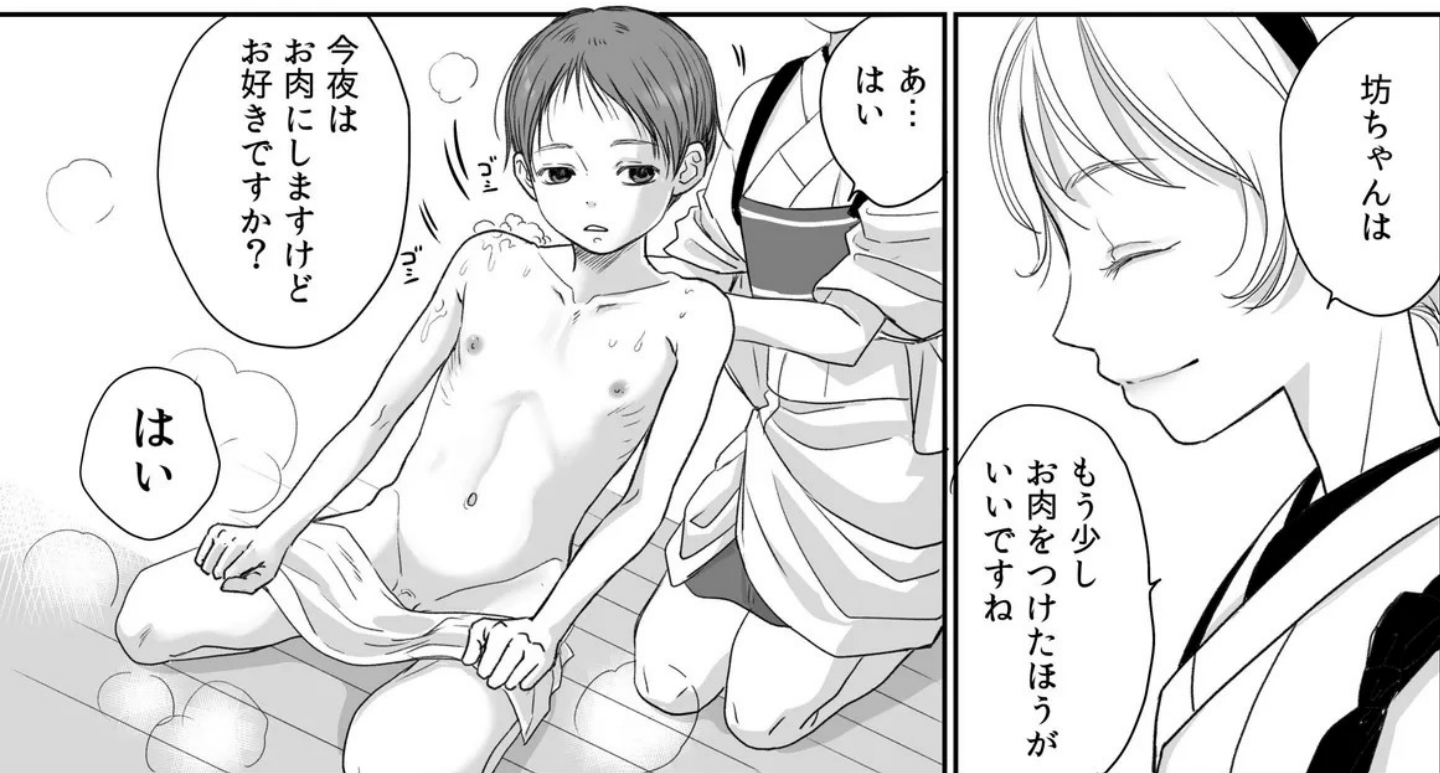
コイツらは
ここで大丈夫
かな……

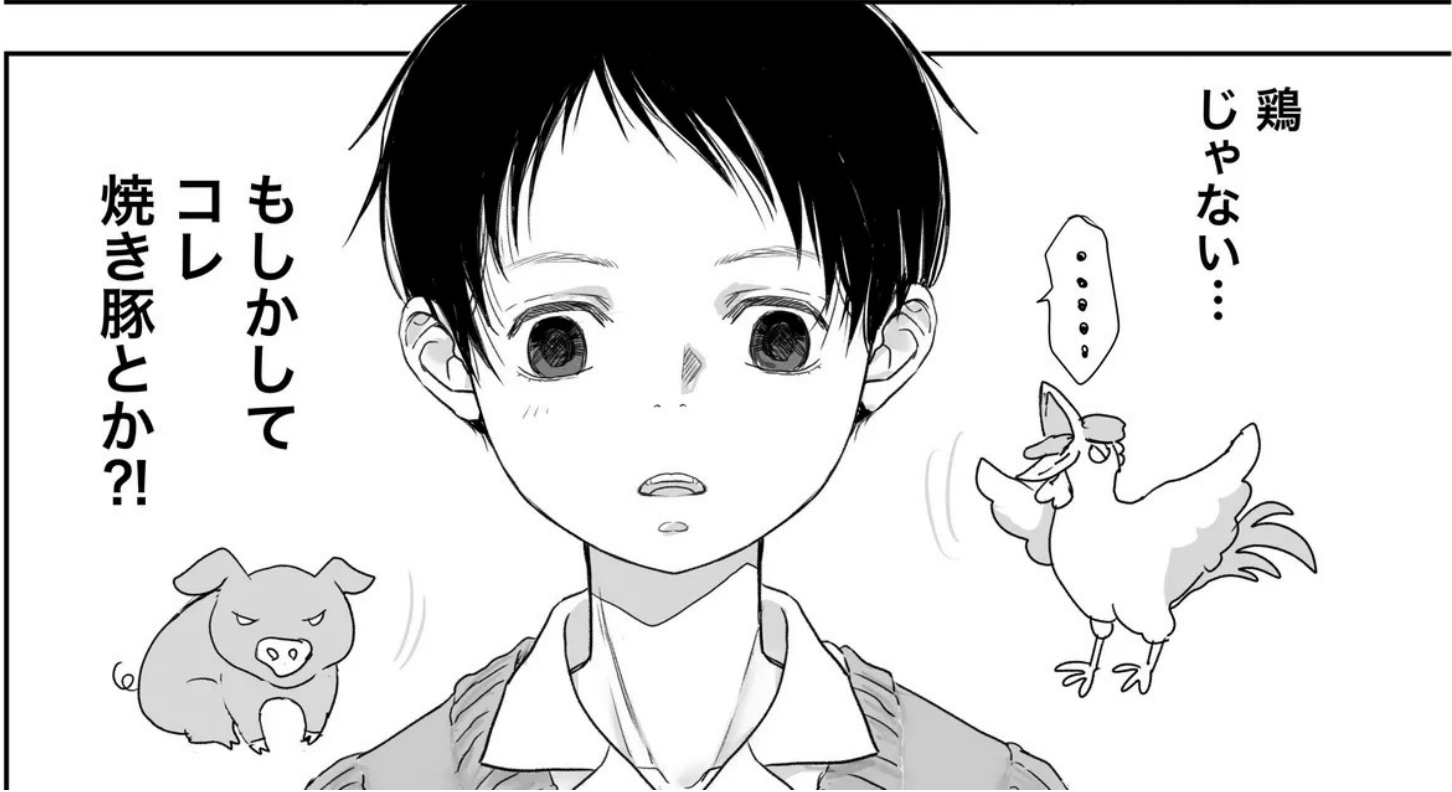
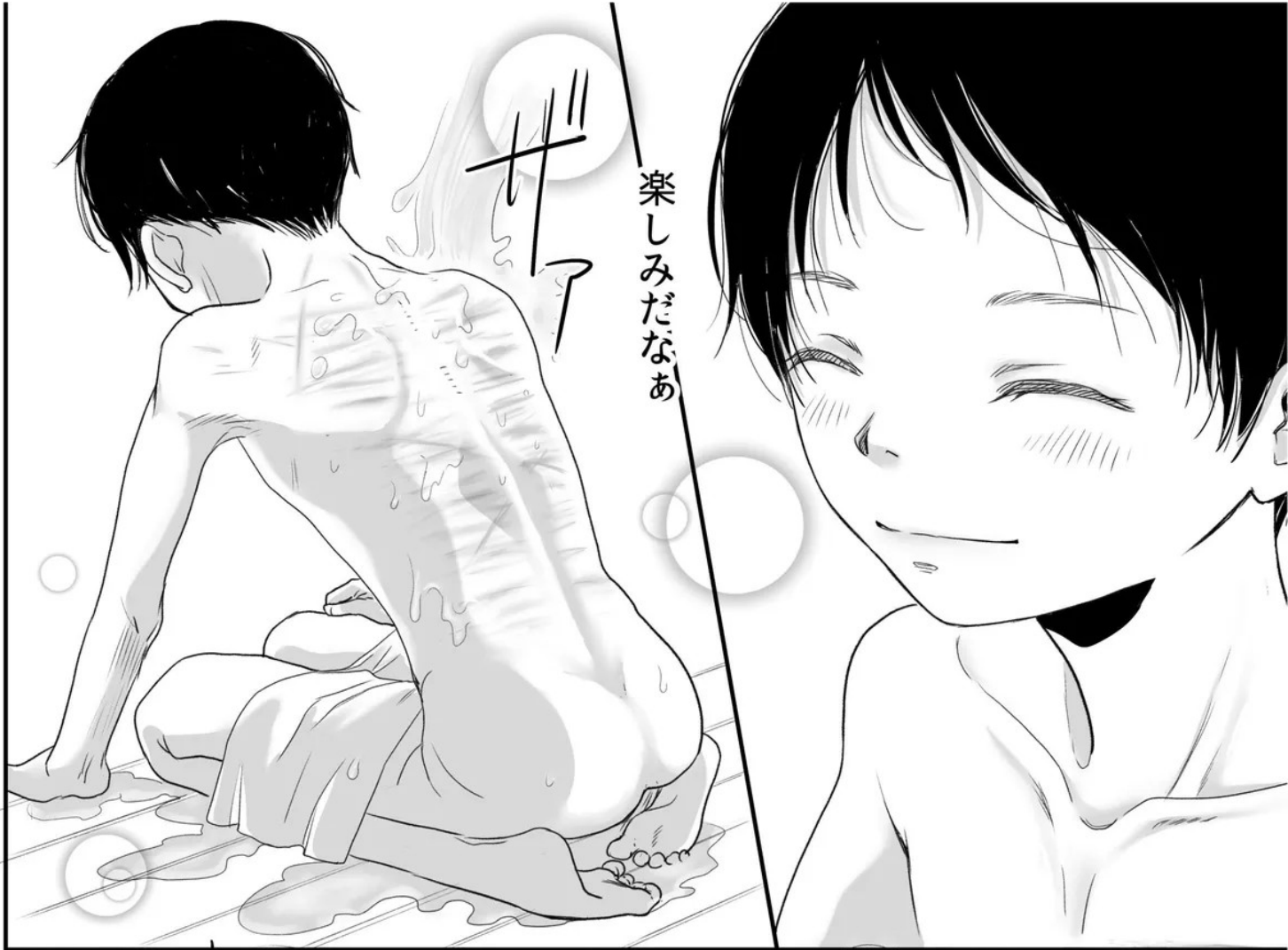
あつ
ユキちゃん？

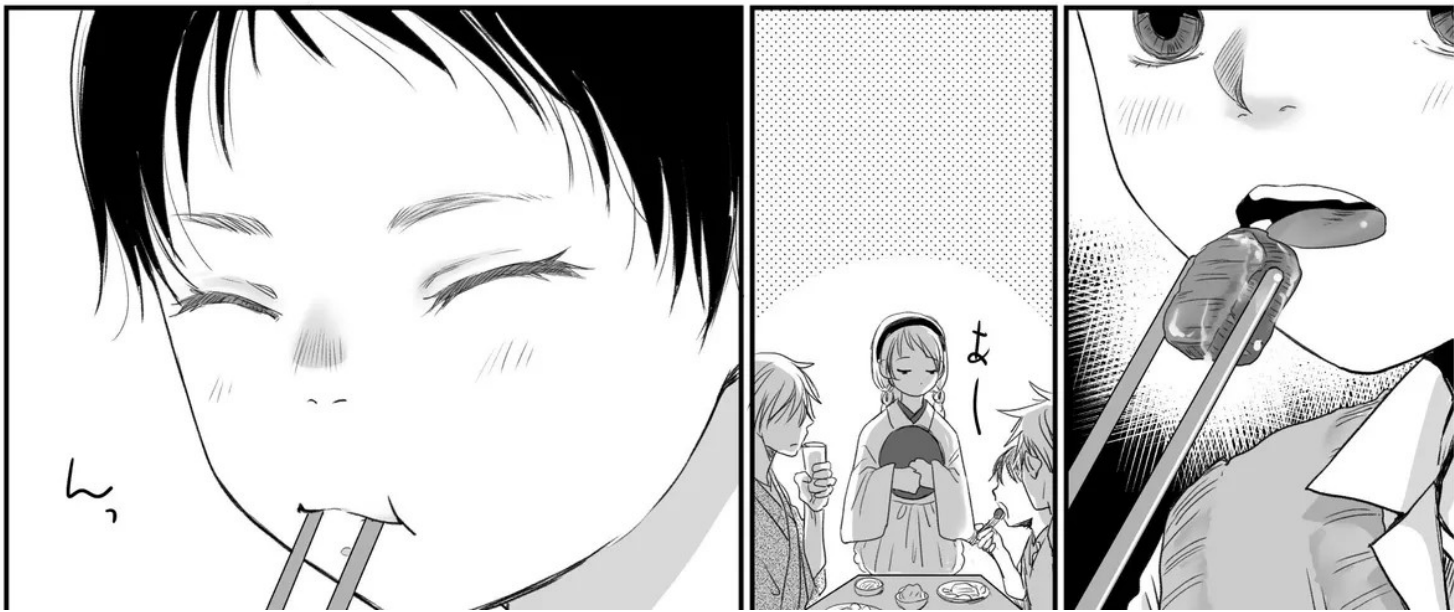
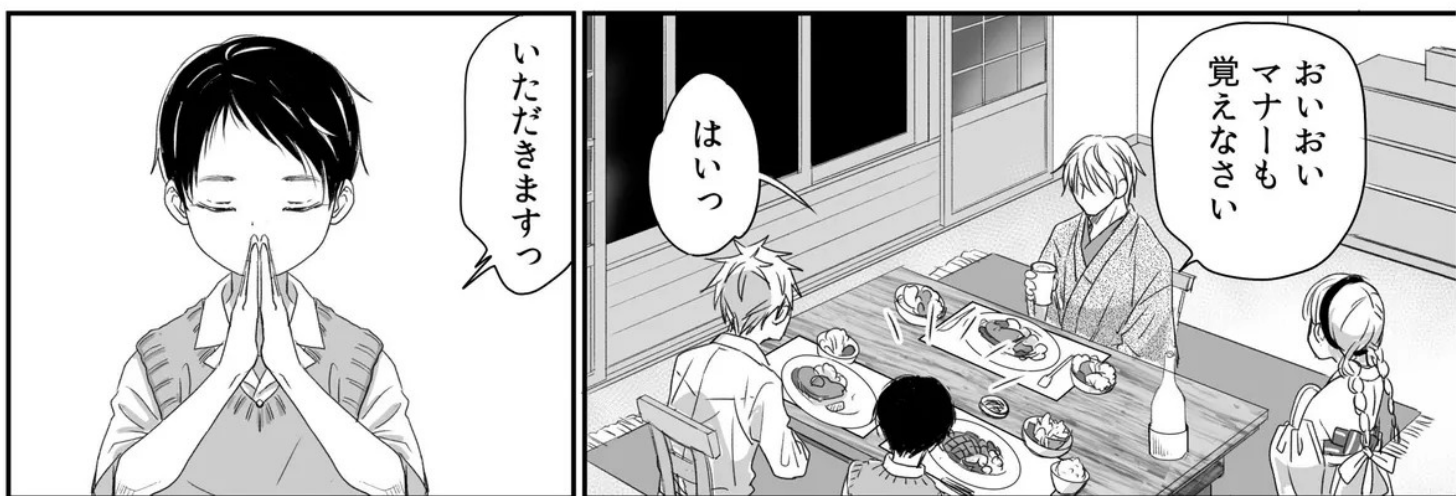
風呂って
すぐ入れるのかな？

三〇分ほど後から
坊っちゃんが先
にお入りになりますから

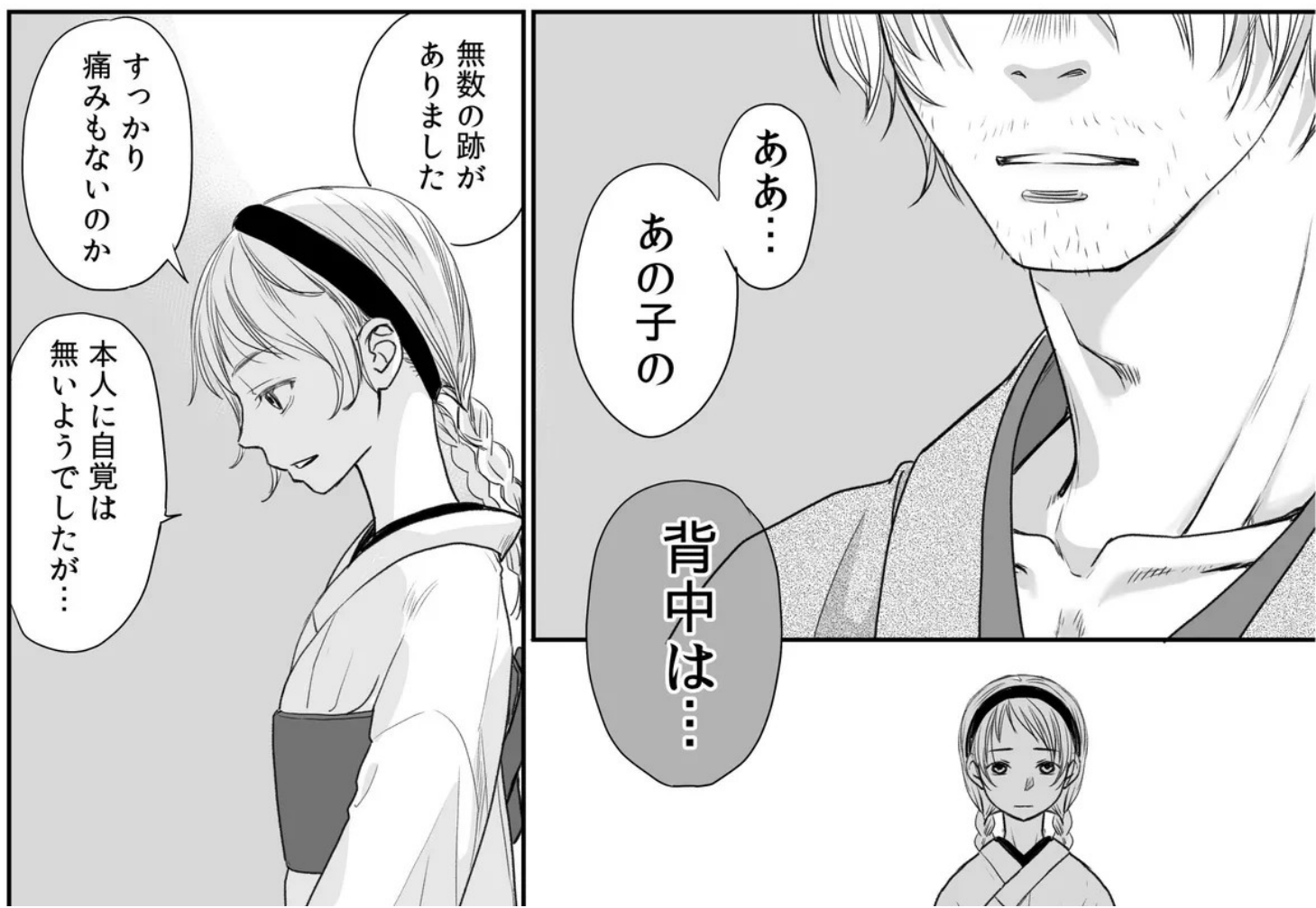
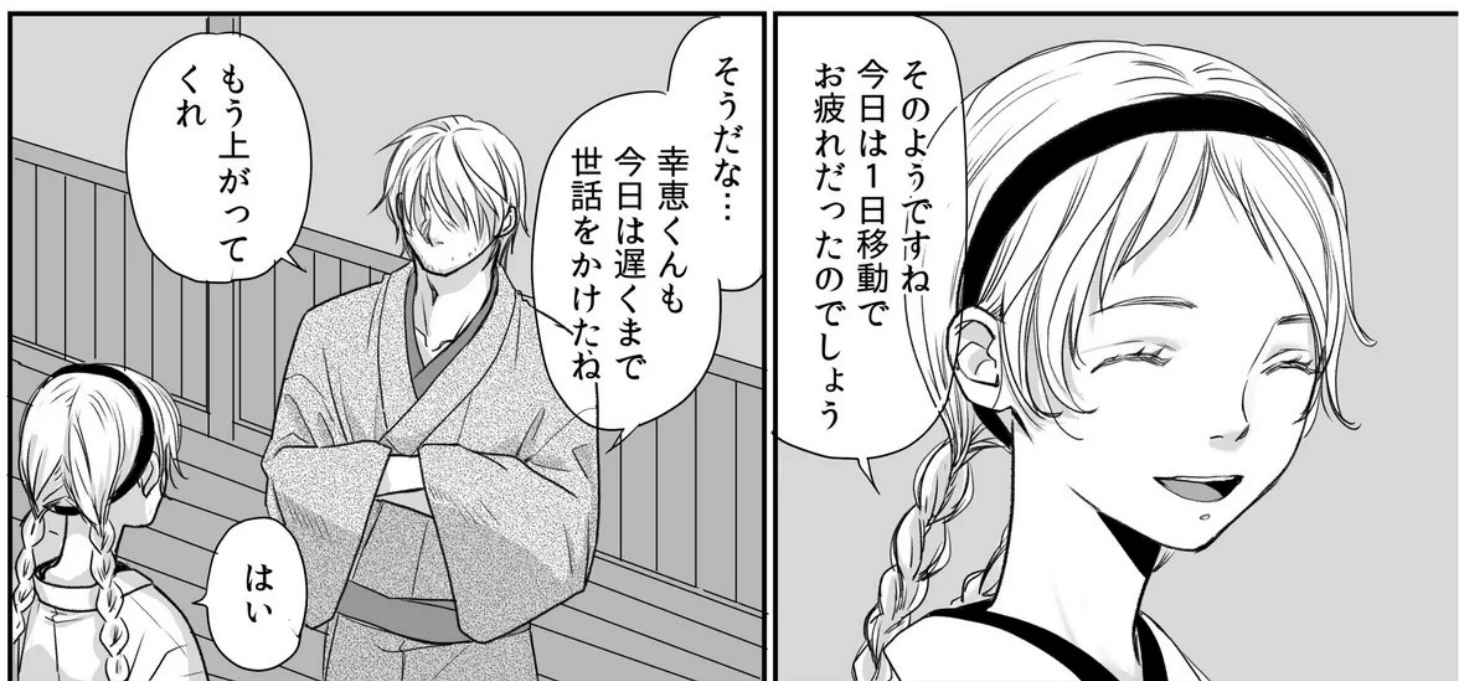
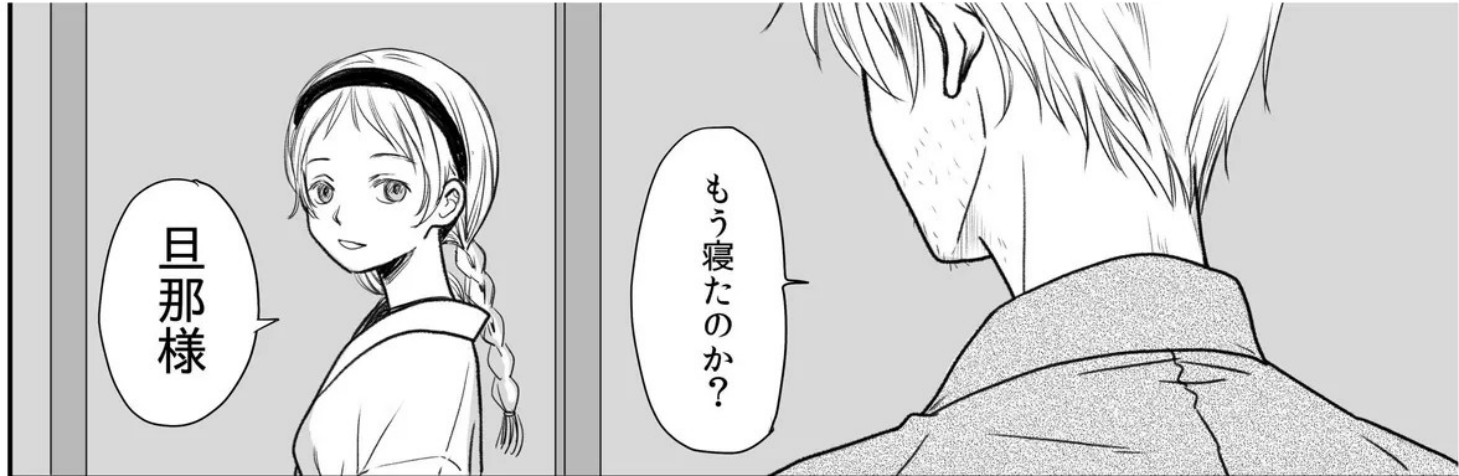
仲介さんは
その後で
お願いします



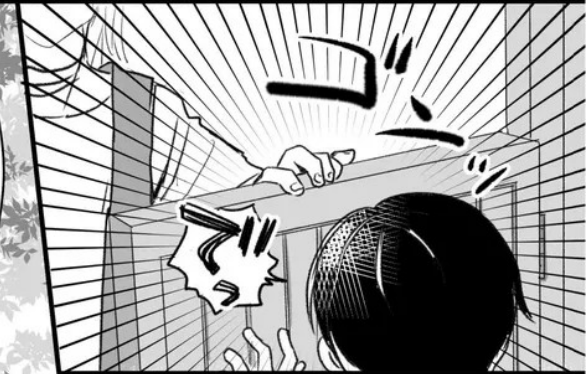
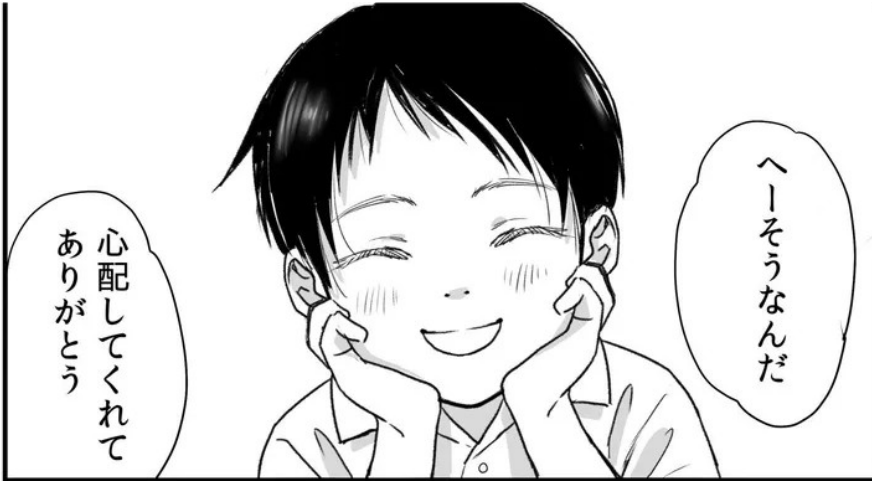


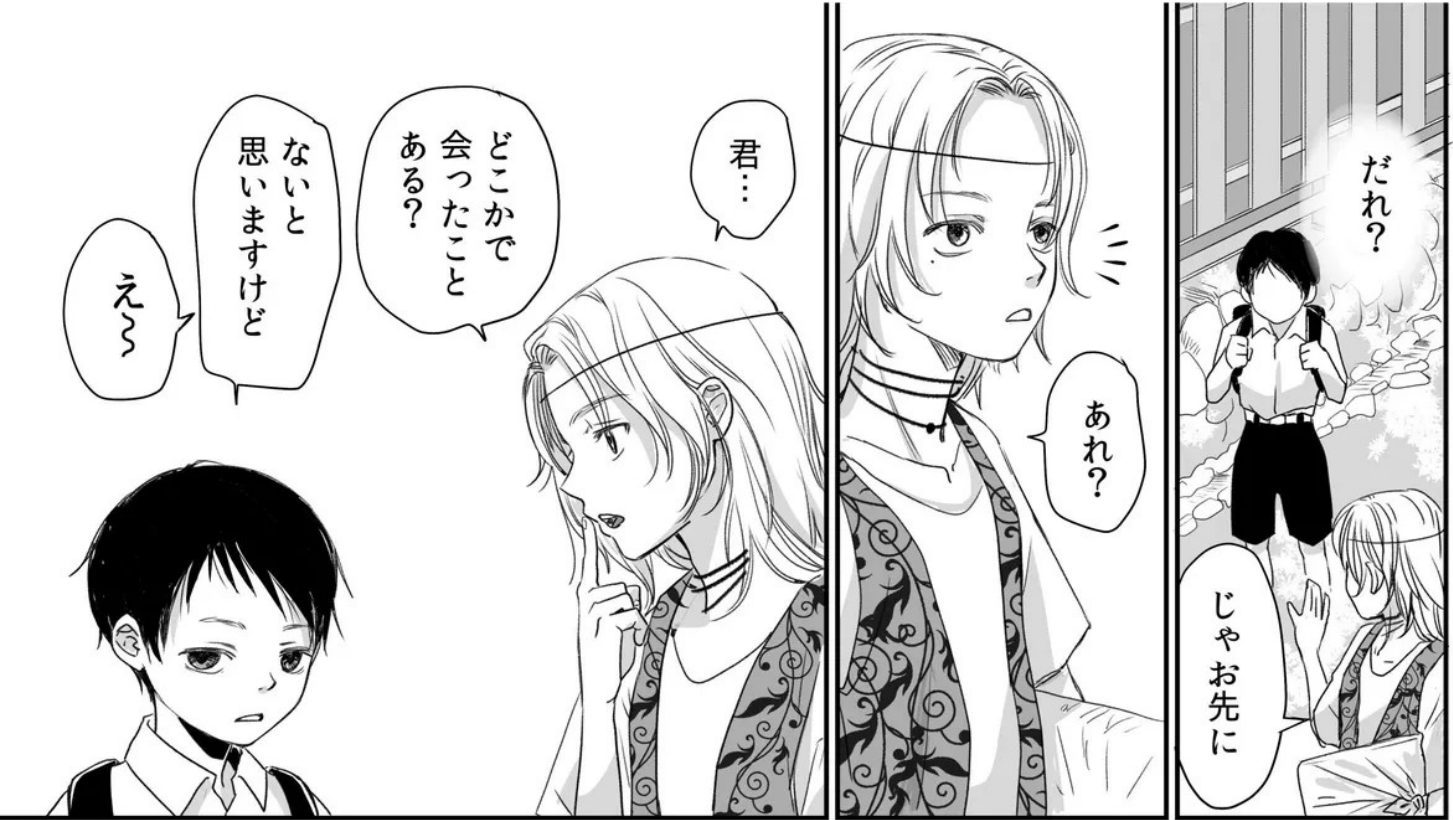


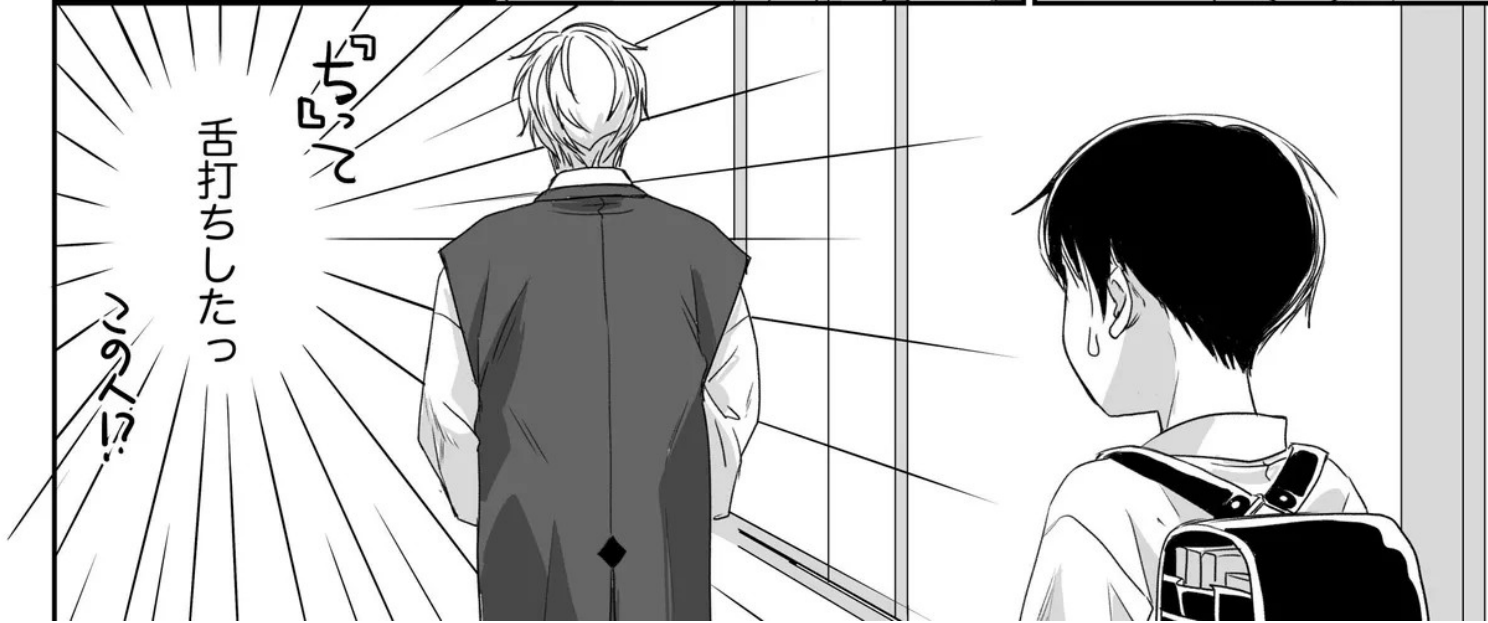




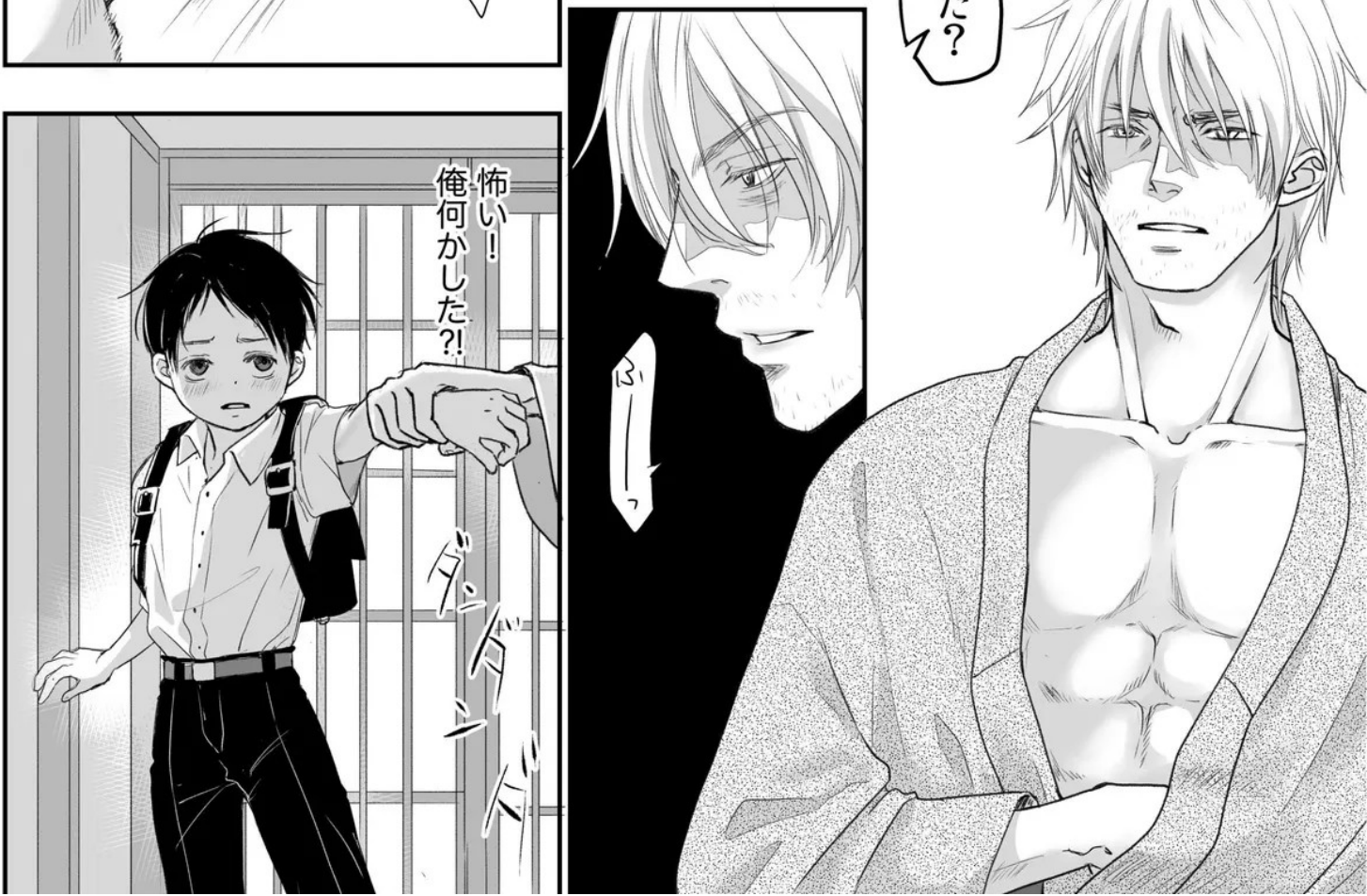
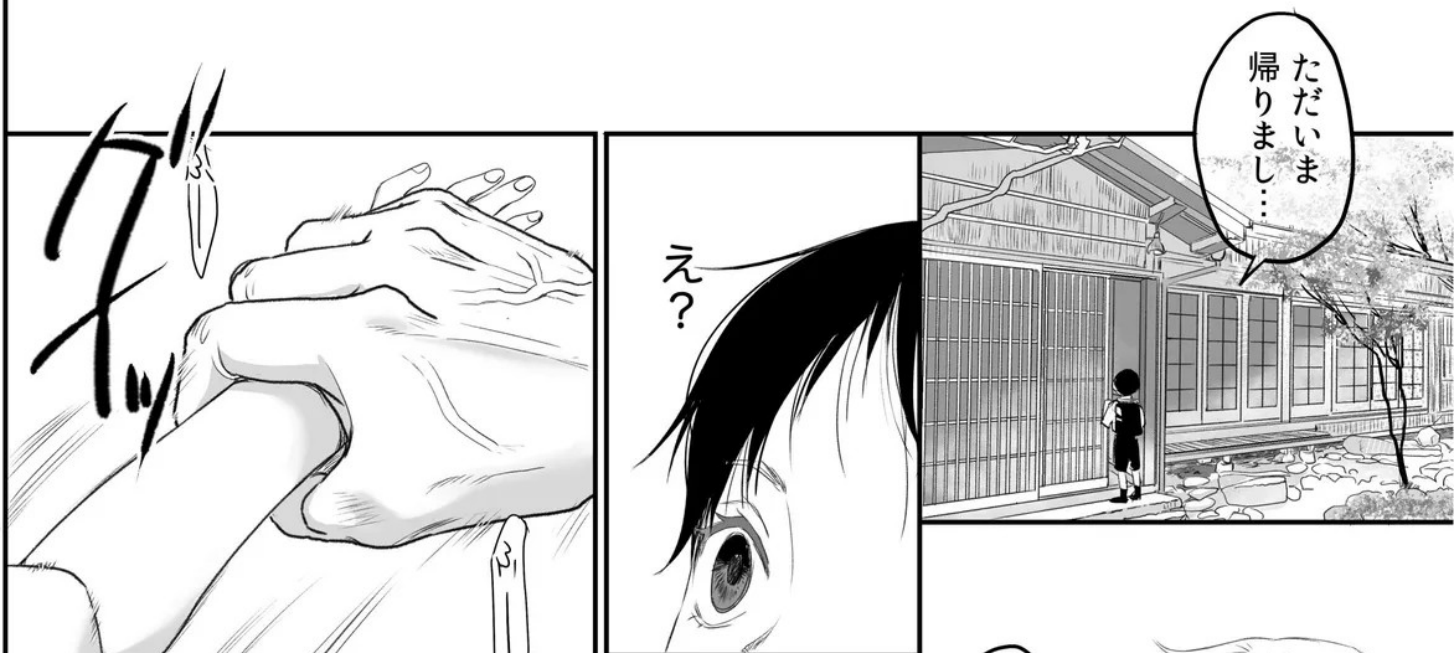


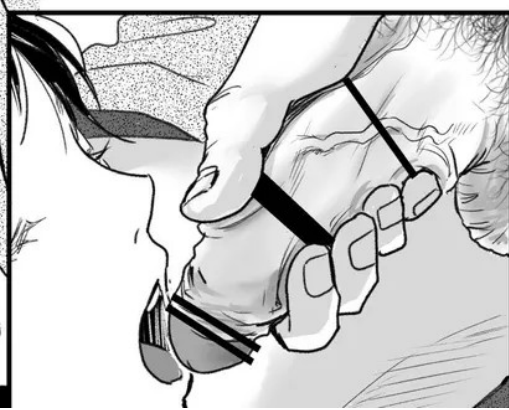
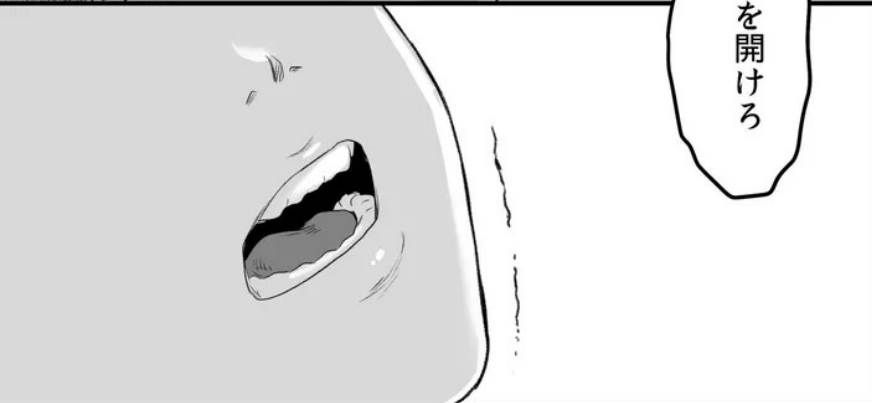














辛
か
っ
た
ね
え



口をすぼめて
もつと吸え

大変だった
ねえ

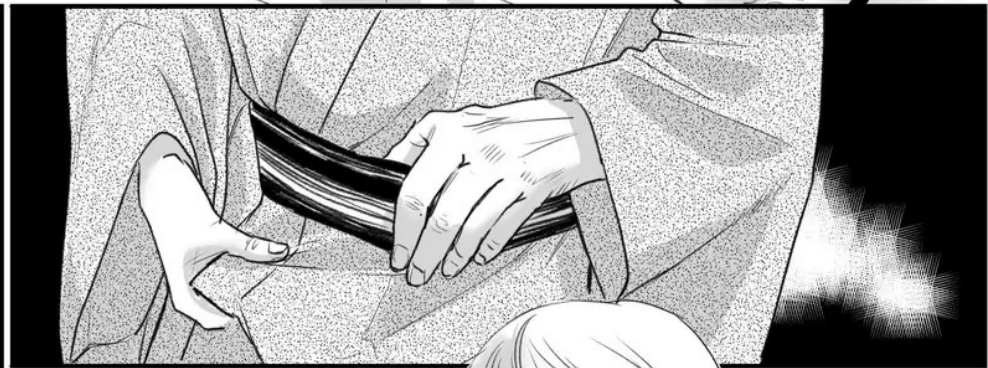


かわいそうに
ねえ

ドピュッ



ククク



離れには
近づくな

いいな





この話
養子は



よかった…

これくらい
で済んだ

やっぱり
そういうことが



朝食はおにぎりを
用意しますますね

わかりました

明日東京帰りますんで！
この美味しい夕飯も
最後か

旦那には
挨拶しないとんで
朝一で出ます



あー俺



土産に
これ買ったんす

あゝソレおすすめで
アツご飯で
何杯でもいけますよ



坊



お守りだ

なに？

コレ
持つてな



おー

よかった
見送りに
出て来てくれて

気をつけて
帰ってね

仲介さん！

明るくなるの
早くなったな

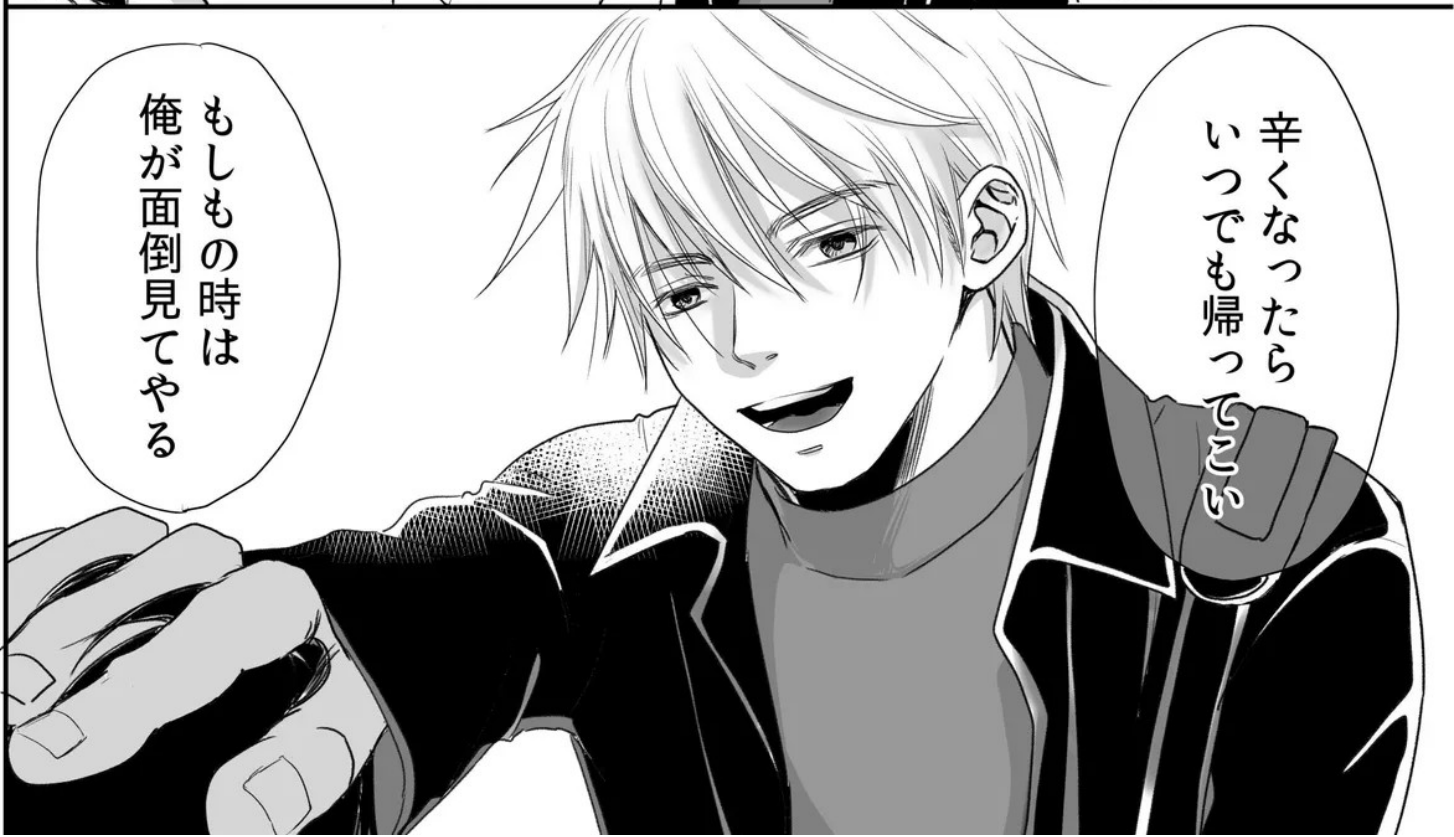


まあ
食わすくらいしか
世話できんけどな



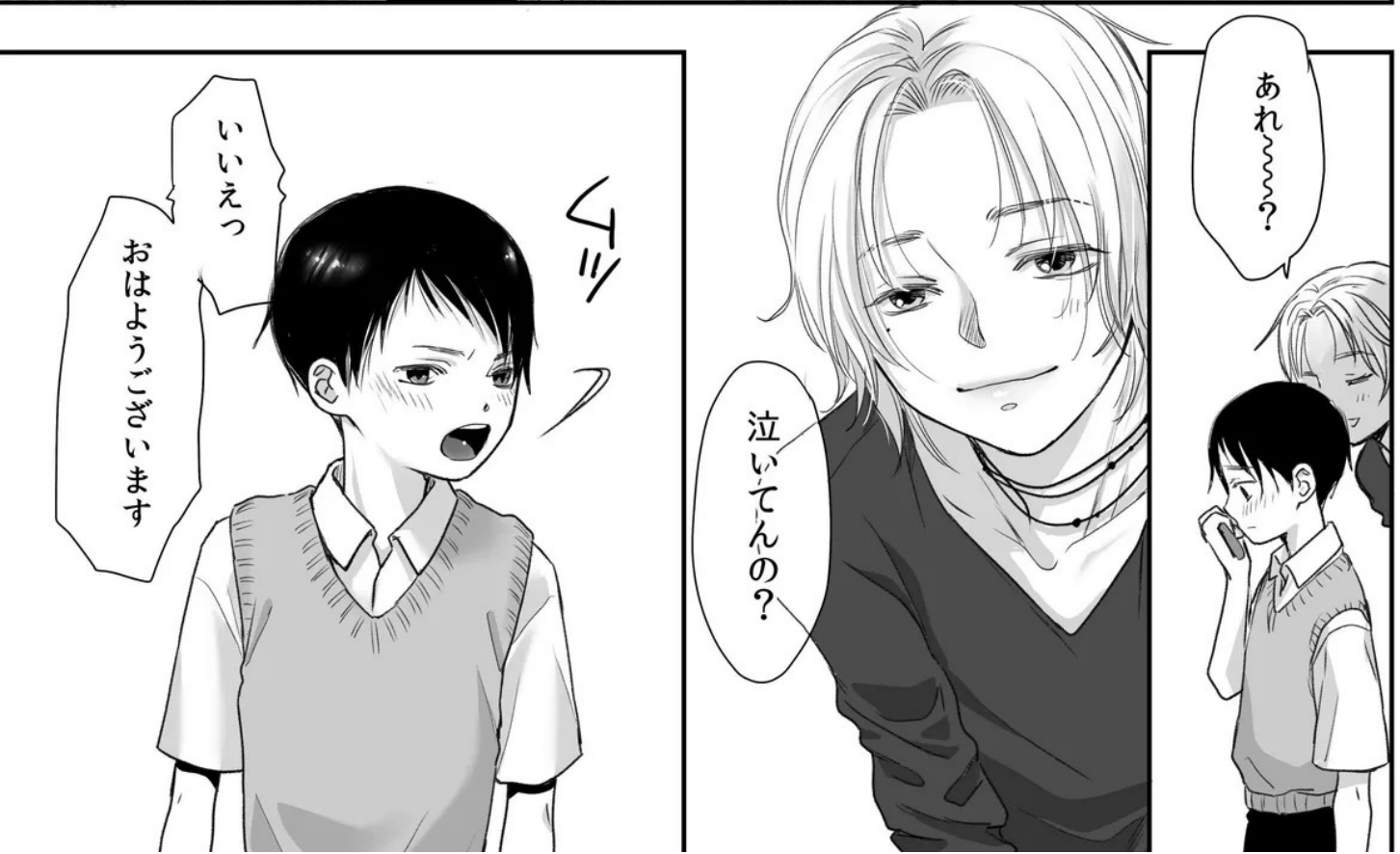
片道の汽車賃しか
ねえけどな

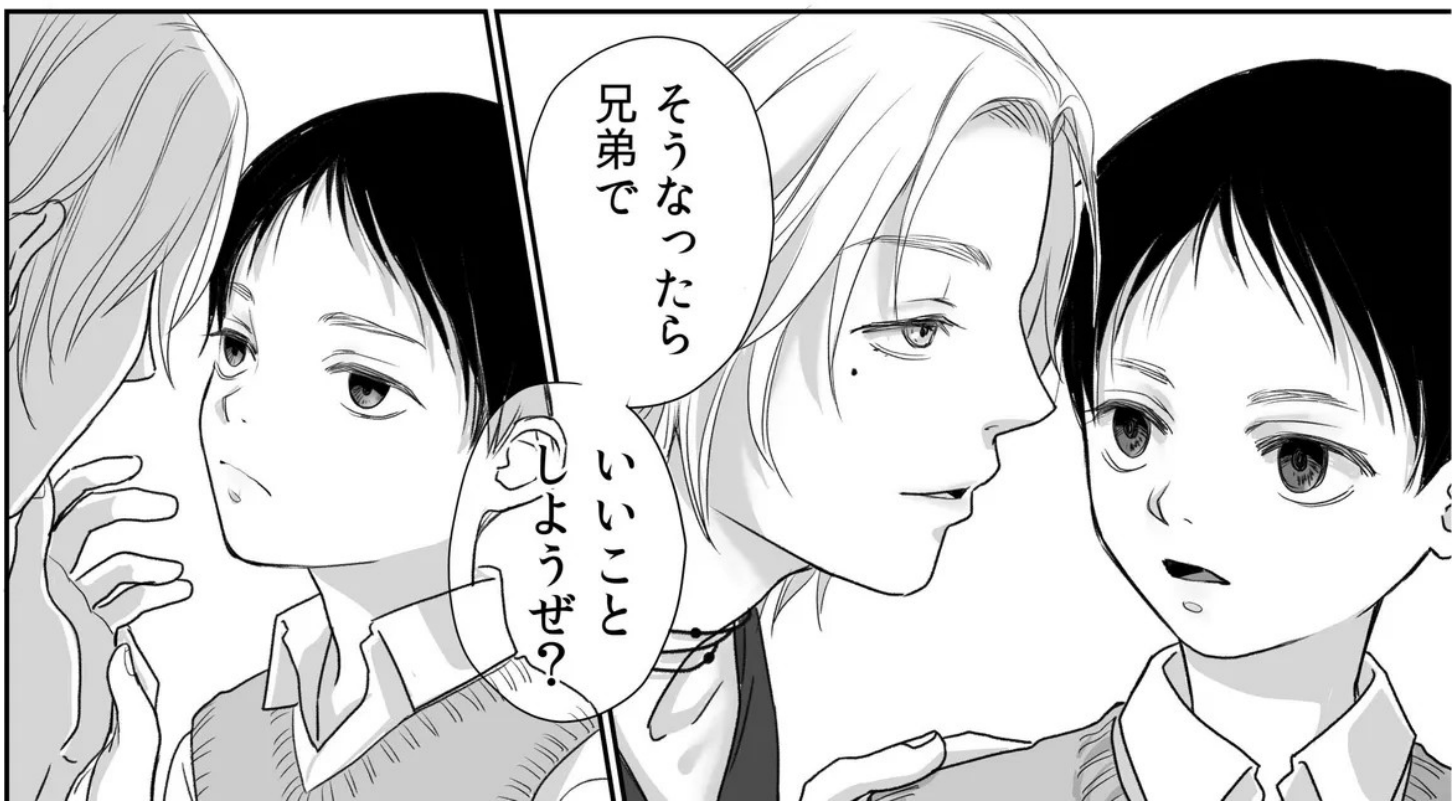
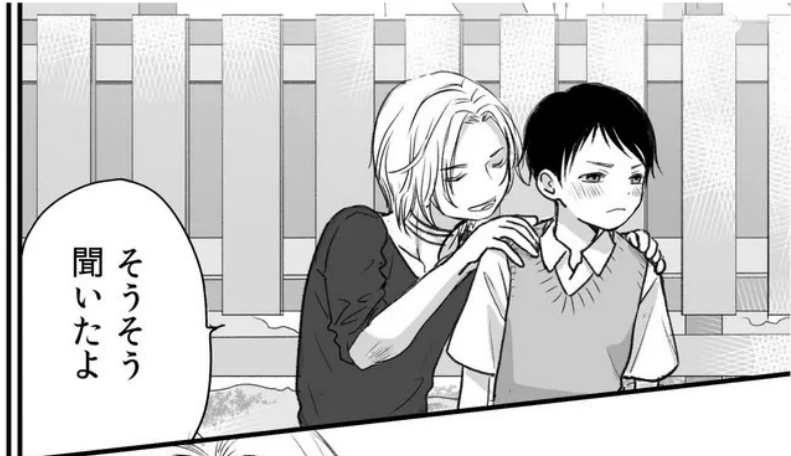
セツさんには
よくよく世話に
なったから

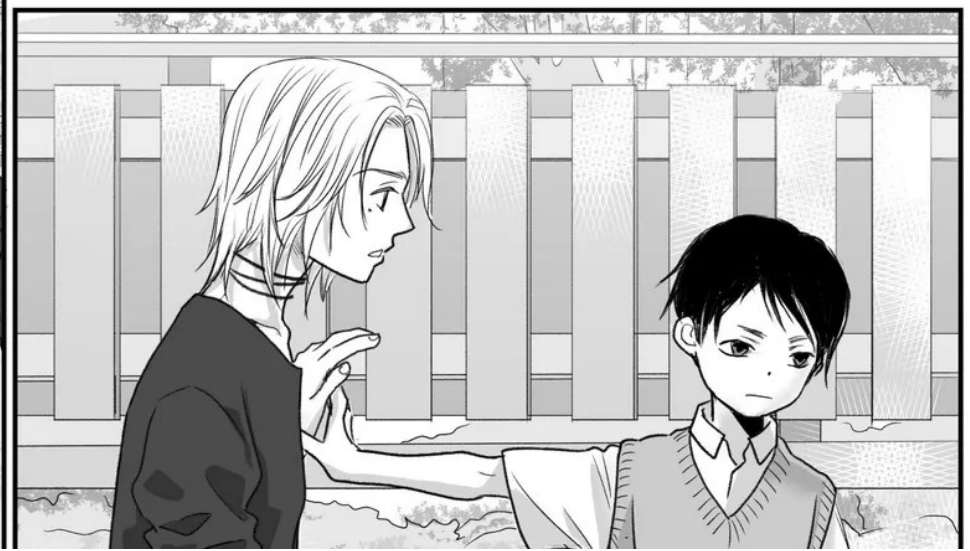
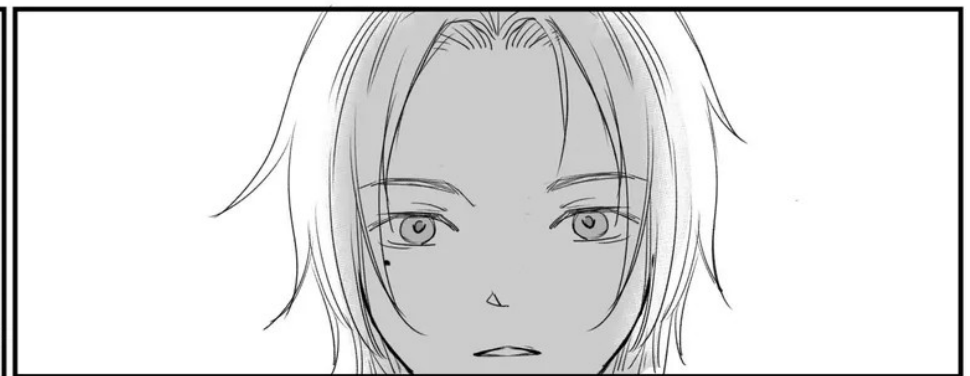
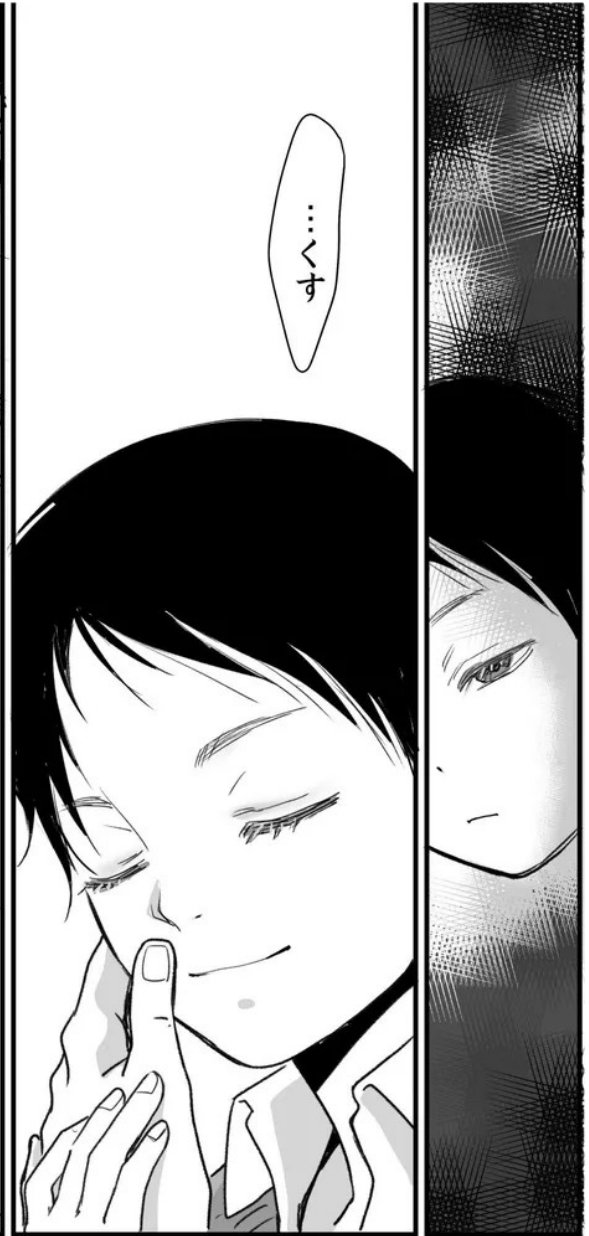


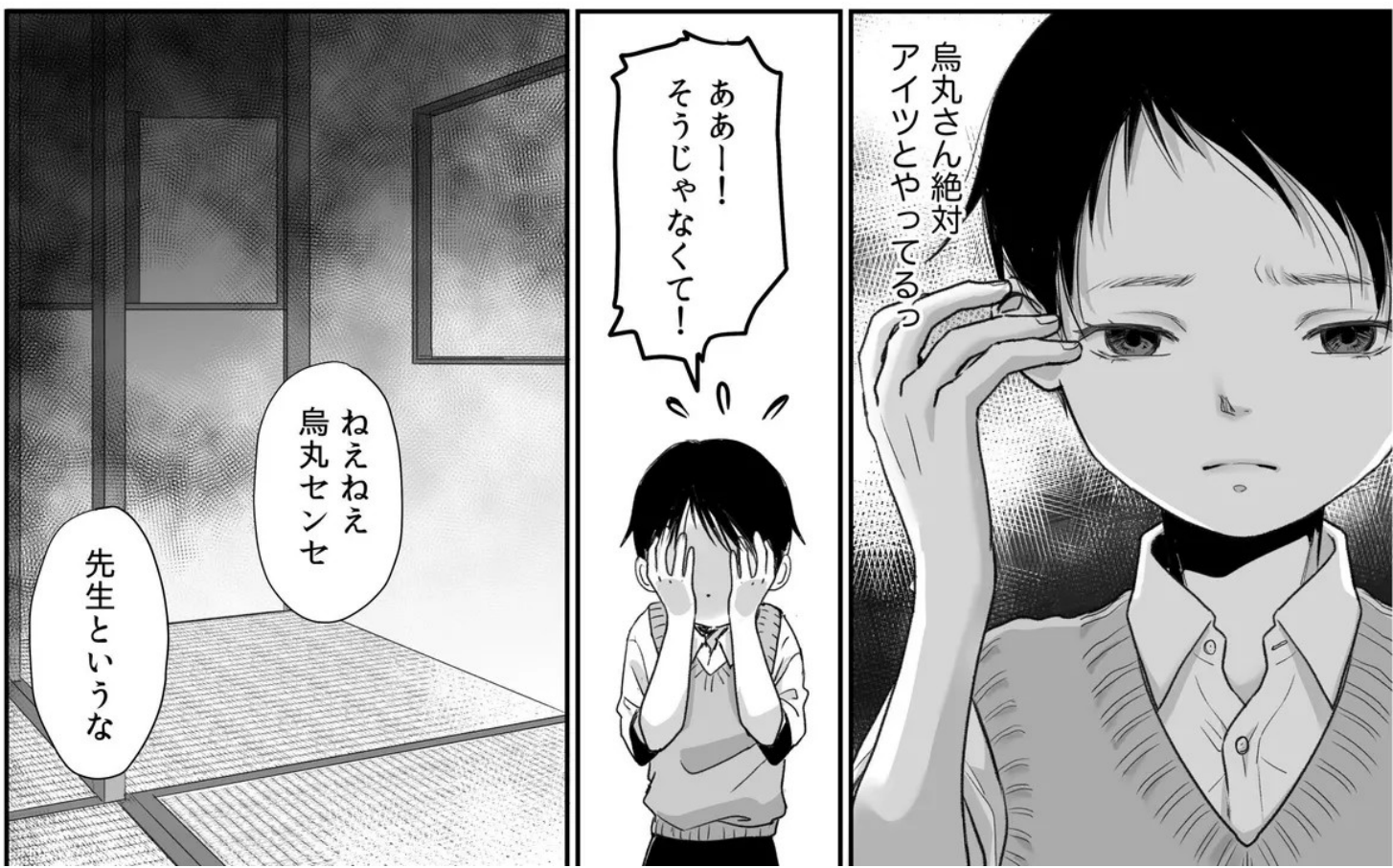
辛くなったら
いつでも帰ってこい

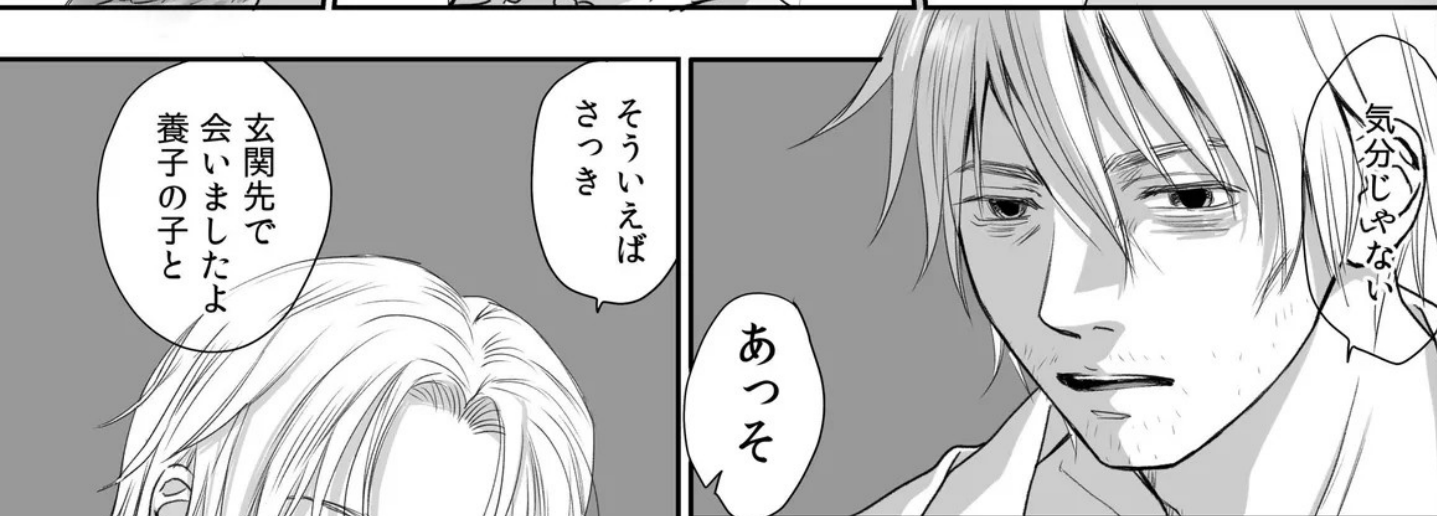
もしもの時は
俺が面倒見てやる





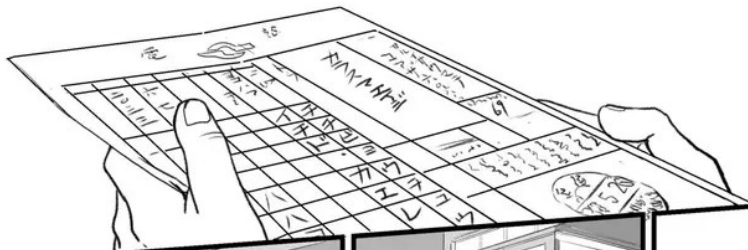


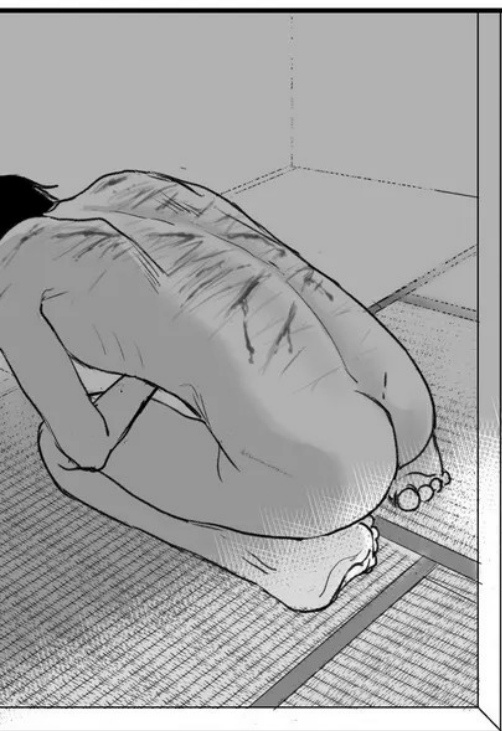






チチビヨウチュウ
イチドカエレ







あの
電報が…

誰か
いるのか…



部屋の中を見たか？



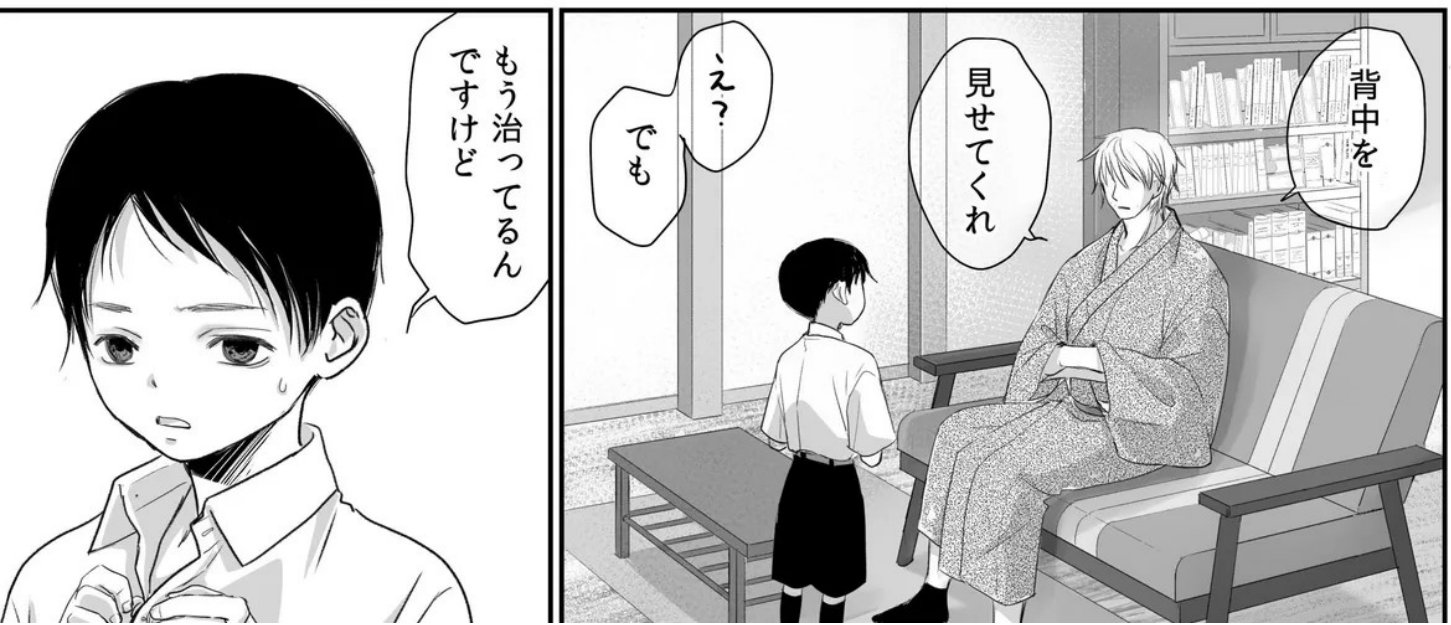
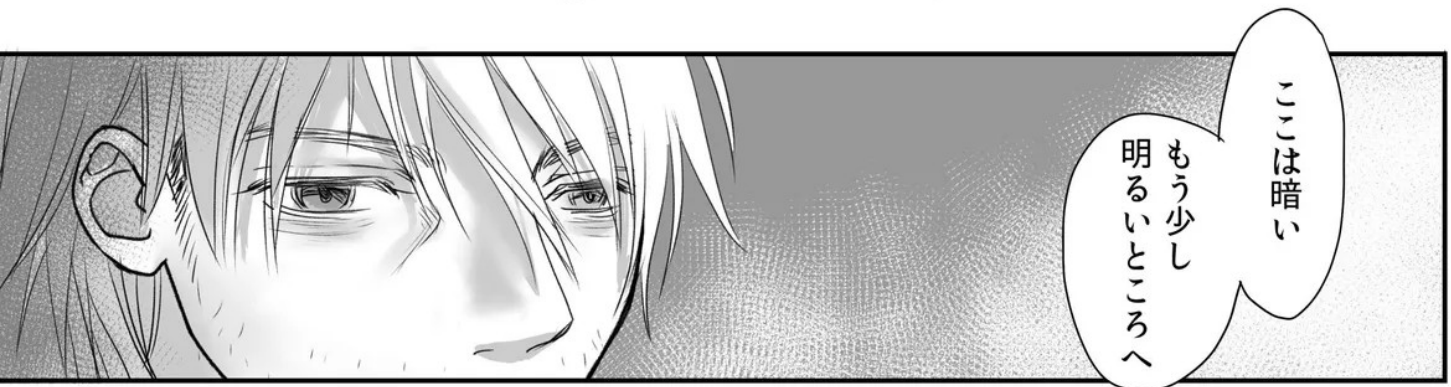
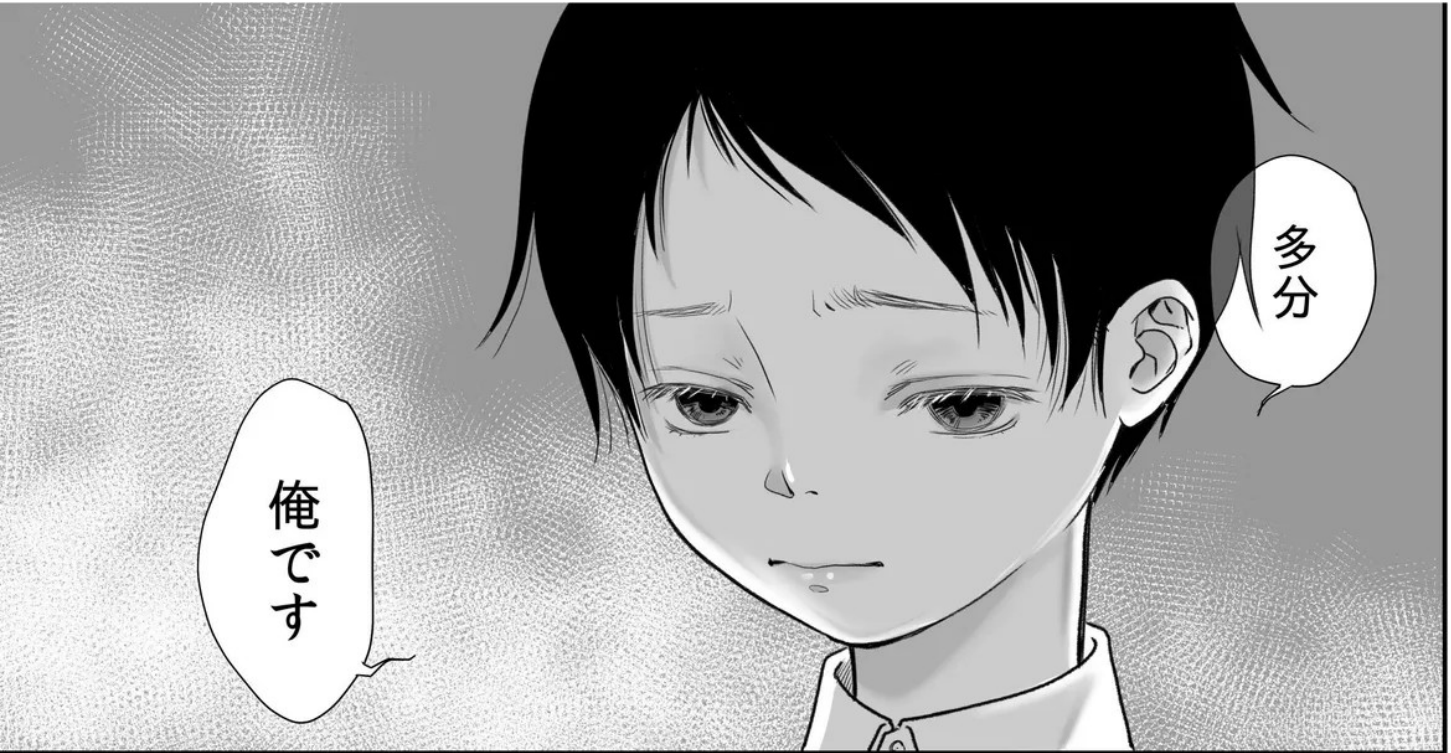
…



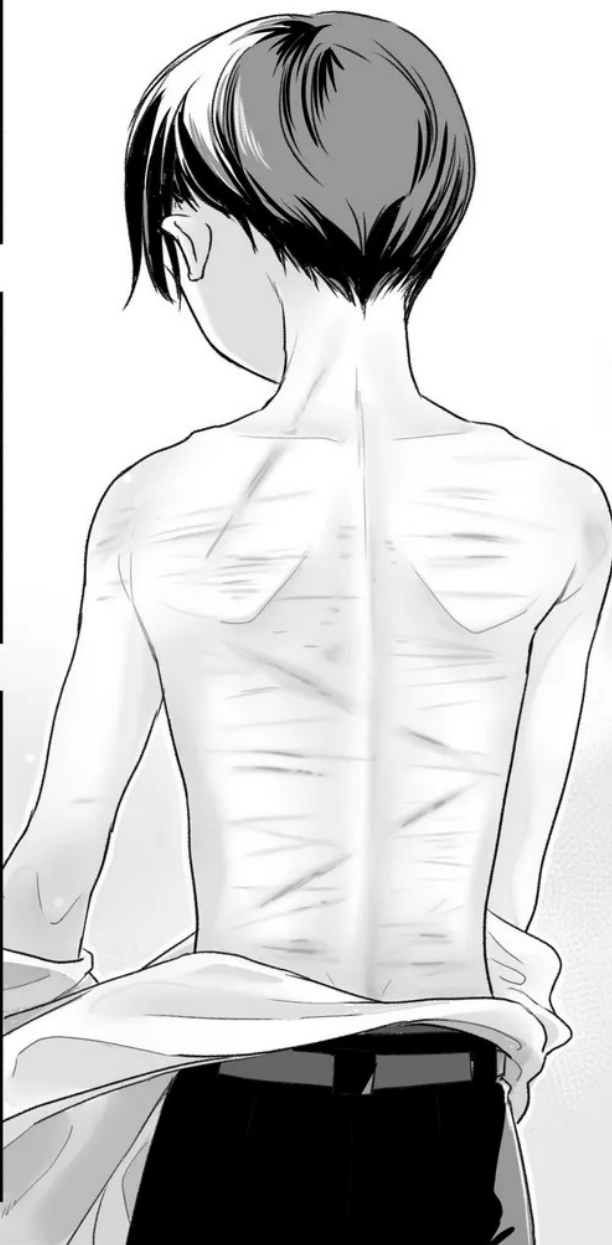
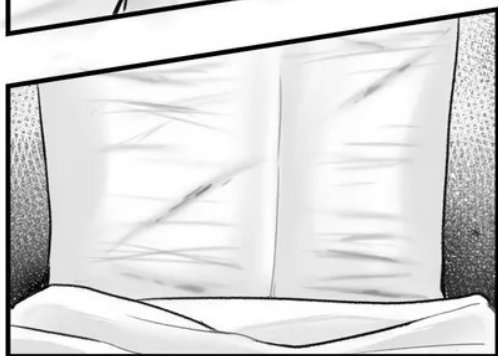
そうか…

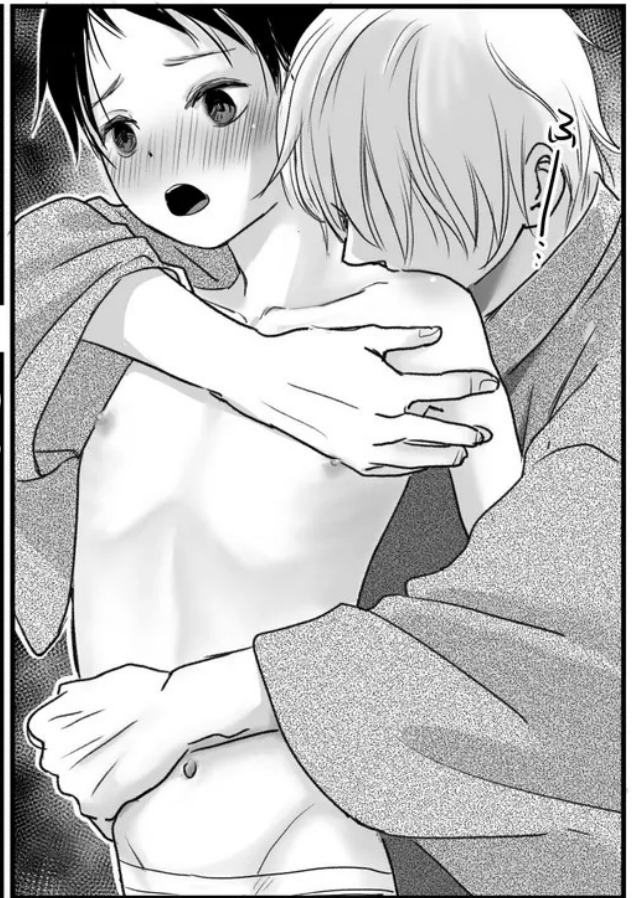
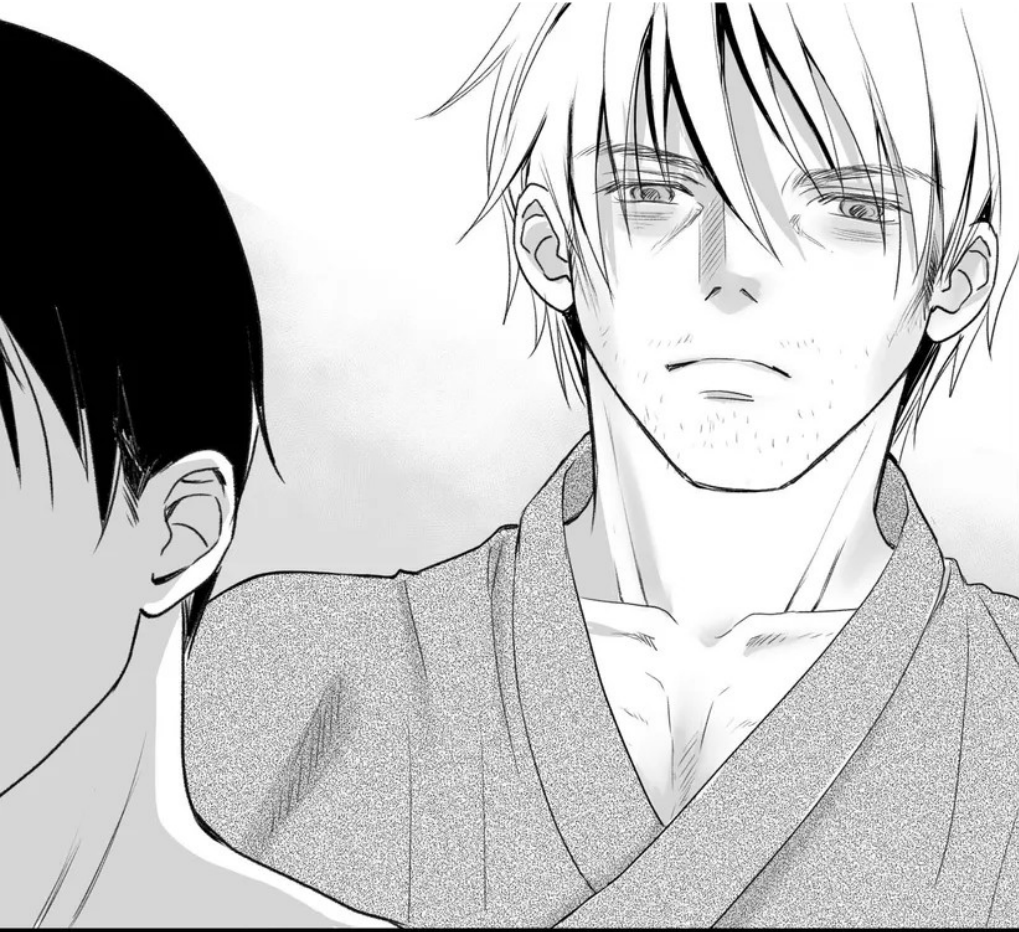
あれが何か
知っているか？

—はい



もう1年も
経ってるし
痛くもないんです







ここでの事は
忘れて

明日…
あの汽車賃を
使って帰ろう

元いた場所に戻ろう…



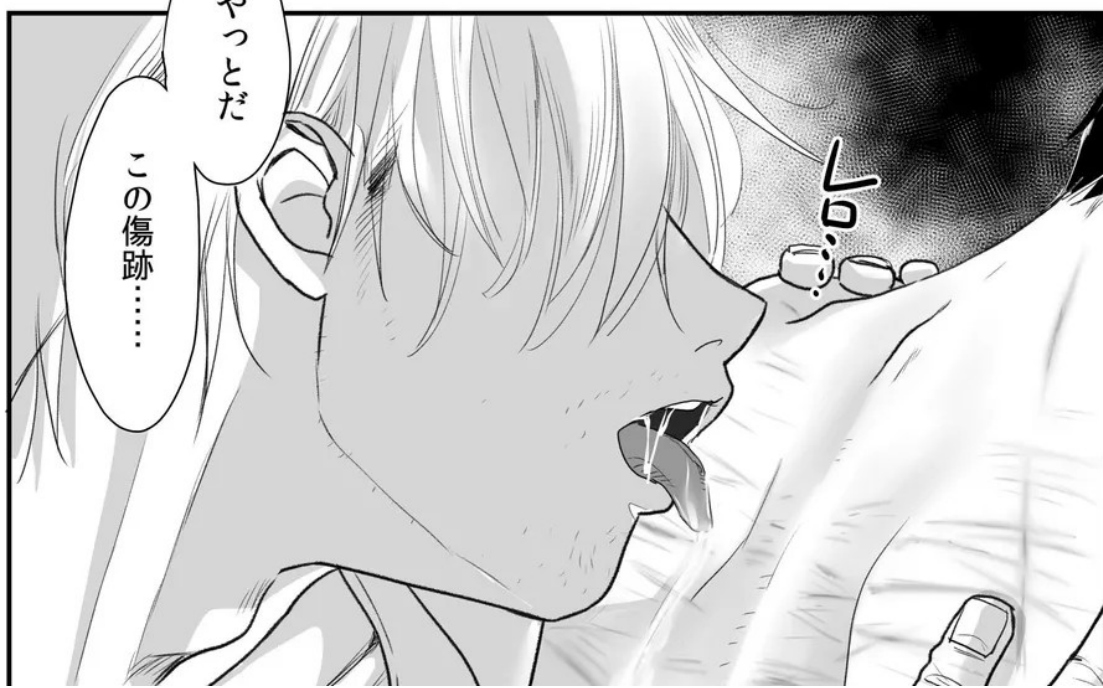
無理やりだった

この間は悪かった



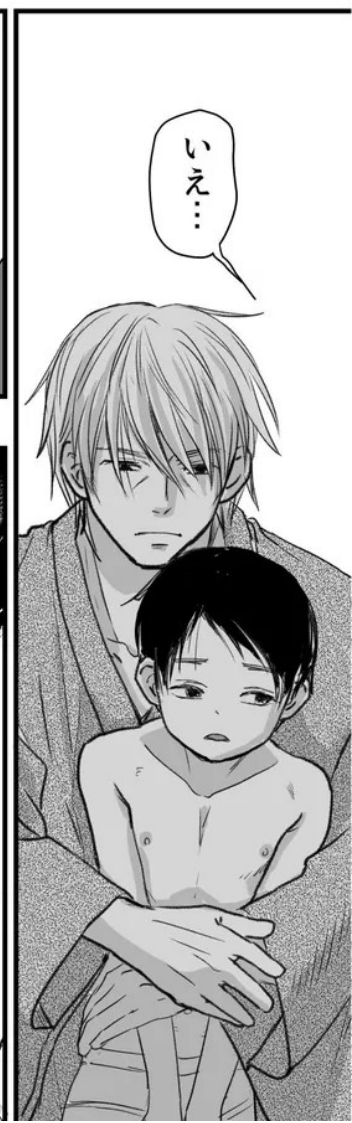
あの写真は
偶然上野で
手に入れた

この半年ずっと
お前を探していた



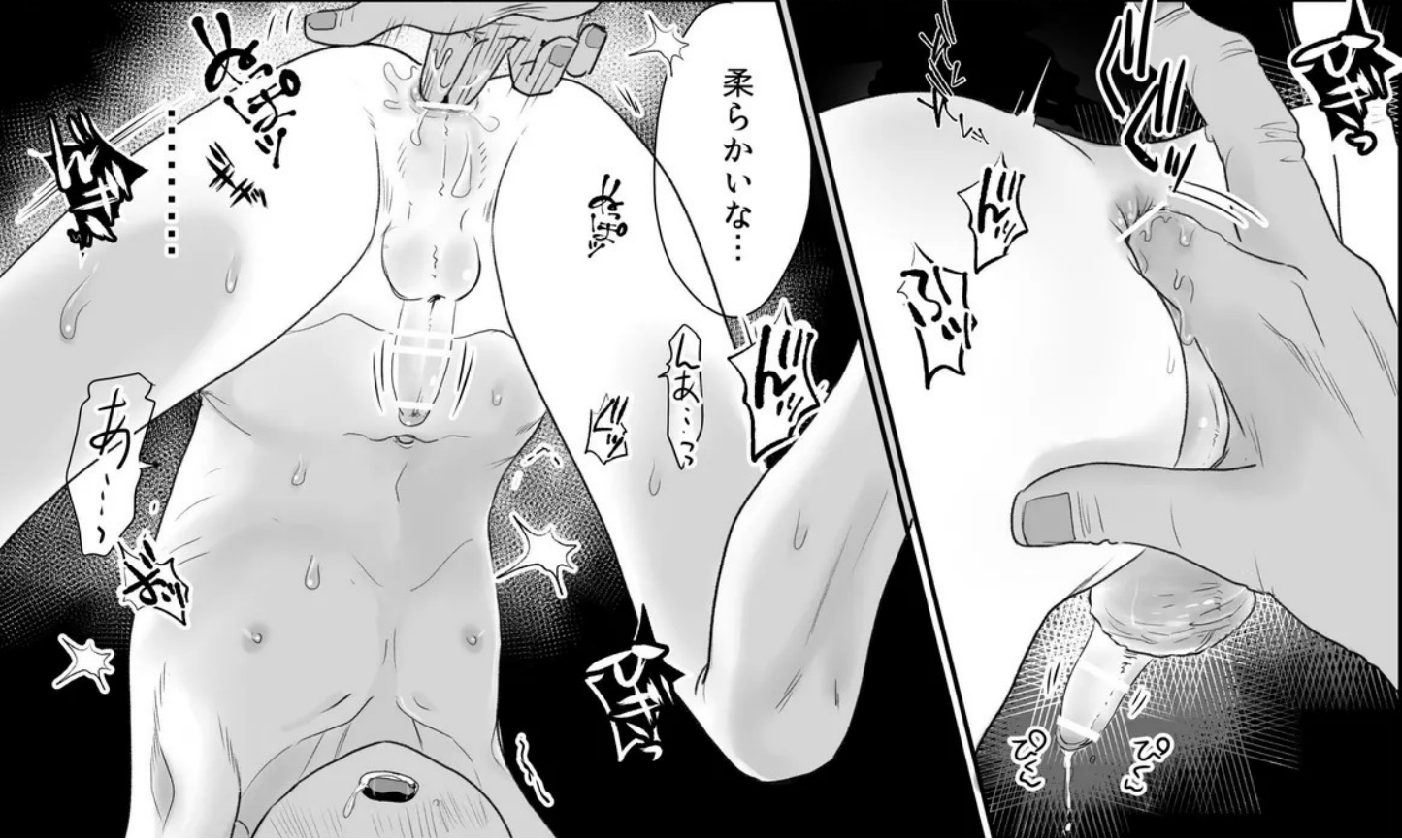
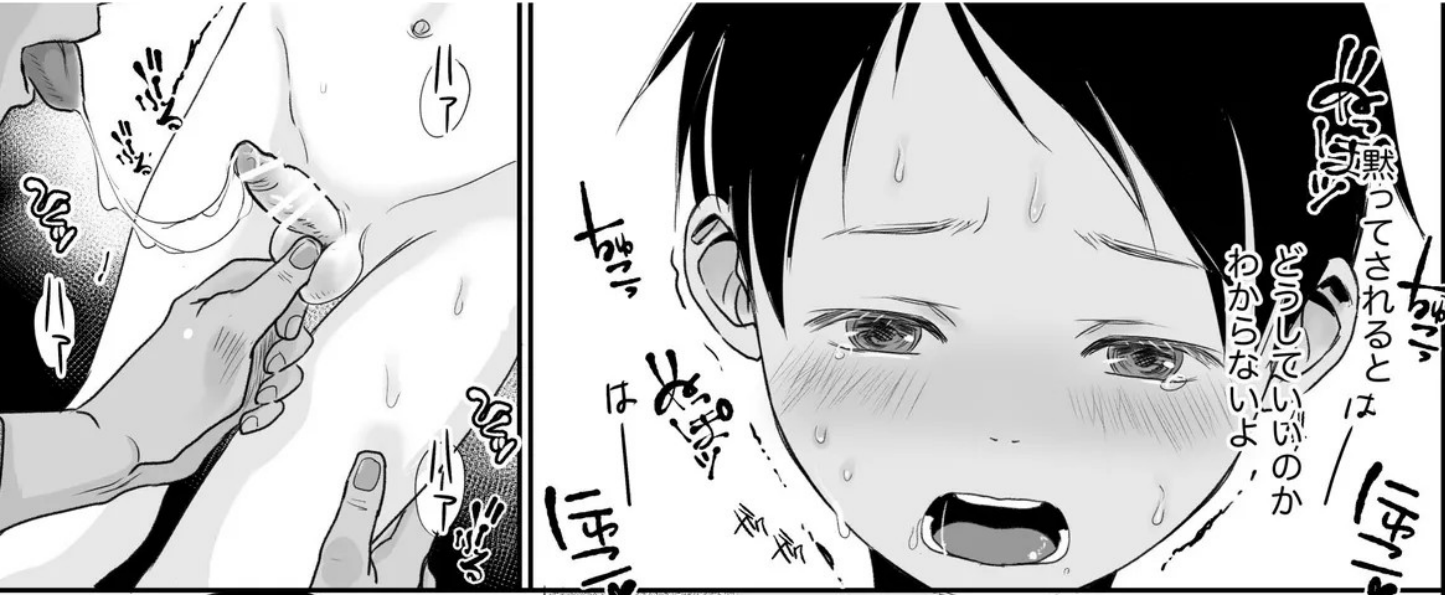
やっとだ

この傷跡……

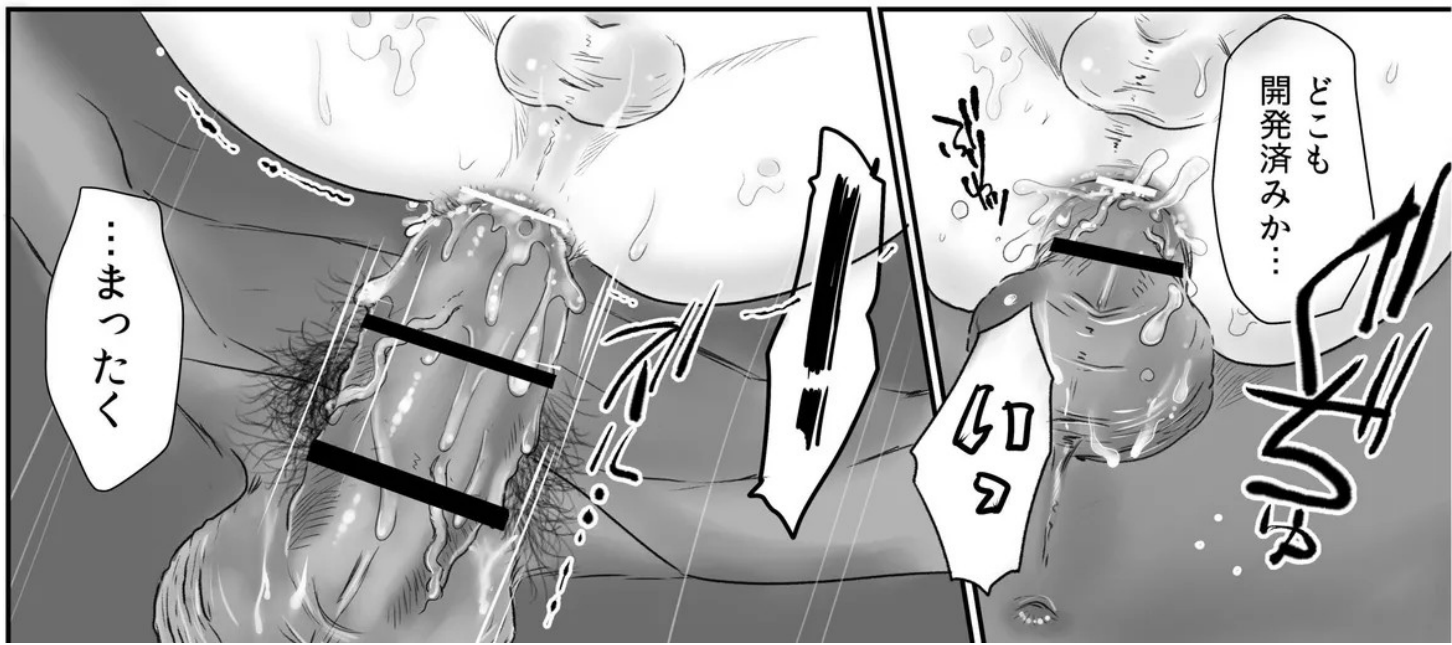


いえ…









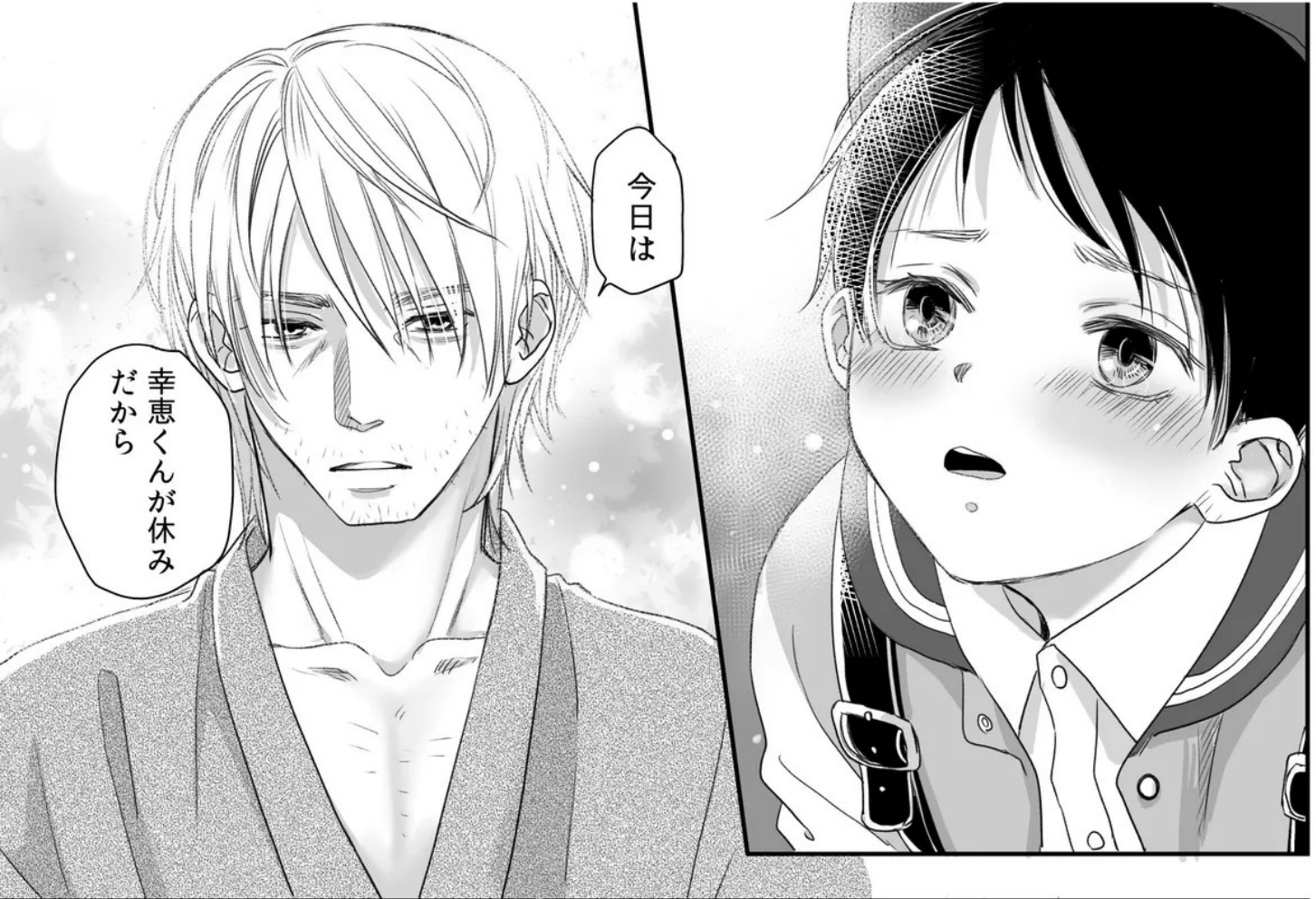












今日は

幸恵くんが休み
だから



一緒に朝飯を
作るぞ

えっと...



その...

爺さんの仏壇も
用意するから

...ずっと一緒に
いてくれ...

おわり。

キラキラヒカル

昭和養子縁組話

発行サークル YANCHACLUB

発行者 百斎

2024.10.29 DL版

mail dousaimo@gmail.com

Pixiv 3009369

X @dousaimo

日本のブリーフについて

日本国内においては、1950年代中頃（昭和30年代）より登場し、流行に敏感な青年層を中心に爆発的に浸透した。その身体に沿った斬新なデザインとこれまでの下着にはなかった穿き心地や機能性から、若年層を中心に、それまでの既存の男性下着（トランクス、猿股、褌）を駆逐した。その後、カラーブリーフ、ビキニブリーフ等の派生商品も登場し、1970年代には全盛期を迎えた。グンゼのYGブランドは同社のプレスリリースによると1967年に誕生している[5]。この時代グンゼの子供パンツはまだないが11でも欲しかったので描きました











